

**地域連携支援プログラム**

**報告書**

**(平成 29 年度)**

東海学園大学

## 地域連携支援プログラム報告書（平成 29 年度）

### 目次

#### 域学連携一覧

みよし市との包括協定による活動一覧	ii
名古屋市天白区との包括協定による活動一覧	ii
名古屋市農業センターとの包括協定による活動一覧	iii

#### 平成 29 年度実践プロジェクトから（実施順）

○子ども支援(学習サポート・原小学校トワイライトスクール)【通年】	1
○栽培による保育園児との交流－サツマイモとタマネギの収穫を通して－	3
○新豊田商店街振興組合コラボ 商店街 MAP プロジェクト	5
○おやこエンジョイフェスティバルとうがく	7
○平成 29 年度豊田市 学生によるまちづくり提案「ホテルメニュー開発プロジェクト」	9
○碧南市藤井達吉現代美術館における造形ワークショッププログラム	11
○健康栄養プラザ 本コース「正常血圧を維持しよう」	13
○なごや健康カレッジ「健康學ノススメ 2017」	15
○根羽村創生プロジェクト(Neba-Mura “Never Give Up Project” )	17
○名古屋市農業センターまつり	19
○「食の物語フェア 北部マルシェ」	21
○名古屋グランパスエイトとの名鉄三好ヶ丘駅における J1 成績情報ボードの設置・運営	23
○「第五回浄土宗宗門大学社会連携企画報告会」の開催	25
○天白ご当地動画プロジェクト	27
○名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2018 ボランティア活動報告	29
○お母さんと幼児のための食育料理教室	31
○三好ともいきスポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)	33
地域連携支援プログラム全活動概要一覧	35

## 域学連携一覧

- ・通年の実施は冒頭に、その他は実施時期の順番に配列した。連続の場合は、初回実施時期に依った。
- ・【 】内の数字は「地域連携支援プログラム全活動概要一覧」の各単位の表番号である。  
略称: 経営=経営学部、人文=人文学部、スポ=スポーツ健康科学部、栄養=健康栄養学部、  
プラザ=健康栄養プラザ、センター=健康開発センター、推進室=地域連携推進室
- ・三好ともいきスポーツクラブは学外組織のため末尾に置いた。
- ・活動の詳細は、後掲の一覧表をご覧いただきたい。

### みよし市との包括協定による活動一覧

・図書館開放【図書館1】	43
・コミュニティFM「モミアゲラジオ」「みよしコミュニティニュース」【人文1・2】	36
・ポールウォーキングin花まつり【センター2】	45
・「みよし市スポーツ指導者講習会」【センター6】	45
・みよし市立黒笹小学校水泳ボランティア【スポ1】	38
・みよし市立三好北中学校水泳ボランティア【スポ2】	38
・愛知県立三好特別支援学校の高等部部活動(マラソン部)支援【スポ3】	38
・みんなでつくろう!ニコニコスポーツ2017【スポ5】	38
・愛知県立三好特別支援学校の高等部部活動(ウォーキング部)支援【スポ6】	38
・愛知県立三好特別支援学校小学部体育授業支援 ダンス交流【スポ7】	38
・男女共同参画への取組講演会「一人ひとりが社会を創る構成員 ～多様な働きから多の実際～」【スポ8】	38
・名古屋グランパスエイトとの名鉄三好ヶ丘駅における J1成績情報ボードの設置・運営【経営7】	35
・みよし市イルミネーション「ラヴァーズストリート in 保田ヶ池2017」【経営8】	35
・みよし市立中部小学校持久走大会への学生ボランティア派遣【スポ9】	38
・みよし市立黒笹小学校マラソン・ジョギング大会への学生ボランティア派遣【スポ11】	39
・三好ともいきスポーツクラブ【三好ともいきスポーツクラブ1~10】	49

### 名古屋市天白区との包括協定による活動一覧

・図書館開放【図書館1】	43
・名古屋市立原小学校トワイライトスクール参加【推進室1】	48

・名古屋市天白区の原学区・平針南学区学習サポート【推進室 2】	48
・公開講座(連携：天白生涯学習センター)「歌舞伎入門(2017 春)」【推進室 4】	48
・「天白健康づくり隊勉強会」【センター5】	45
・とうがくクッキング 手打ちうどんを作ろう【プラザ 3】	46
・介護フェスタ in てんぱく 2017【栄養 8】	41
・公開講座(共催：天白生涯学習センター)「歌舞伎入門(2017 秋)」【推進室 8】	48
・天白ご当地動画制作【人文 4】	36
・天白保健所タイアップ・離乳食講座【プラザ 11】	47
・公開講座(連携：天白生涯学習センター) 現地を訪ねるシリーズ「熱田綺譚」【推進室 9】	48

#### 名古屋市農業センターとの包括協定による活動一覧

・食農体験教室「簡単おいしい野菜の料理づくり」【栄養 2】	40
・とうがく生と一緒に運動と食で健康になろう！ ～農業センターウォーキング&食育紙芝居～【栄養 6】	41

# 子ども支援（学習サポート・原小学校トワイライトスクール）

## 1. 目的・概要

学習サポートは様々な要因で充分学習できない環境の子どもたちを地域で学習支援する名古屋市天白区独自の事業で平成27年9月から原学区と平針南学区で実施している。天白区と包括協定を結ぶ本学は、学生16名（29年度は教育学部14名、人文学部1名・スポーツ健康科学部卒業生1名）がシフトを組み、毎週土曜日午前に3名ずつ有償ボランティアで参加・協力している。

トワイライトスクールは異学年の小学生が遊んだり、学んだりすることにより自主性・社会性・創造性を育むことを目的に小学校の施設を活用して実施されている事業で、名古屋キャンパス近くの名古屋市立原小学校へは、大学で参加者を毎月とりまとめ（1日最大8名）報告し、相互理解を深め信頼関係を築いている。とりまとめは平成21年度から。月曜から金曜日の授業後及び土曜日が活動日。

これらの子ども支援・学習支援は、天白区との包括協定の具体的活動でもある。

## 2. 担当部局

CDC教職担当窓口で学生の希望日を受付、地域連携推進室でとりまとめ、関係各所（学習サポートは天白区民生子ども課・学区の民生委員、トワイライトスクールは原小学校）へ連絡・報告している。

## 3. 所見・成果

教職課程を履修し教員を目指す学生にとっては、教育実習以外で直接児童とふれあえる貴重な実践活動の場となっている。学習サポートでは、教えるためのオリジナルテキスト作成など参加する学生同士での連絡や協力も必要であり、学生自身が小学校の学習内容を学び直す機会にもなっている。生活困窮家庭の児童だけでなく、片親や外国人の子女など、問題を抱える児童たちに学習を教える難しさを学生は実感していると思うが、経験することにより学生が成長していく機会にもなっている。

毎日50人から60人くらいの1年生から6年生が参加している原小学校トワイライトスクールには、1日8名を限度に教育学部の学生がボランティア参加・協力している。学習の機会より、学生たちには遊びや運動を求められているのが実態であるが貴重な交流の場になっている。

ともに、教員希望の意欲を高めることにつながり、教員採用試験の結果に表れてきている。

平成29年度「天白区学習サポート参加学生数一覧表」 ※のべ参加学生数 194名

日	曜	人数(名)		小計
		原学区	平針南学区	
4月22日	土	3	3	6名
5月13日	土	2	1	9名
5月20日	土	3	3	
6月3日	土	3	3	
6月10日	土	2	3	22名
6月17日	土	3	2	
6月24日	土	3	3	
7月1日	土	3	3	16名
7月8日	土	2	3	
7月22日	土	2	3	

日	曜	人数(名)		小計
		原学区	平針南学区	
8月5日	土	3	3	18名
8月19日	土	3	3	
8月26日	土	3	3	
9月2日	土	3	3	20名
9月9日	土	3	2	
9月16日	日		3	
9月30日	土	3	3	
10月7日	土	3	3	18名
10月14日	土	3	3	
10月28日	土	3	3	
11月11日	土	4	3	13名
11月25日	土	3	3	

日	曜	人数(名)		小計
		原学区	平針南学区	
12月2日	土	3	3	17名
12月9日	土	3	3	
12月16日	土	3	2	
1月13日	土	3	2	17名
1月20日	土	3	3	
1月27日	土	3	3	
2月3日	土	3	3	20名
2月10日	日	3		
2月17日	土	3	2	
2月24日	土	3	3	
3月3日	土	3	3	18名
3月10日	土	3	3	
3月17日	土	3	3	

平成 29 年度「名古屋市立原小学校トワイライトスクール参加学生数一覧表」※のべ参加学生数 235 名

日付	曜日	人数 (名)	小計	日付	曜日	人数 (名)	小計	日付	曜日	人数 (名)	小計	日付	曜日	人数 (名)	小計
4月4日	火	1		7月4日	火	7		10月2日	月	2		1月5日	金	3	
4月11日	火	5		7月5日	水	2		10月5日	木	2		1月9日	火	3	
4月12日	水	7		7月6日	木	2		10月6日	金	3		1月10日	水	1	
4月13日	木	1		7月11日	火	3		10月12日	木	3		1月11日	木	1	
4月17日	月	2		7月12日	水	1		10月23日	月	2		1月12日	金	1	
4月18日	火	4		7月13日	木	1		10月24日	火	3		1月15日	月	3	
4月20日	木	1		7月14日	金	3		10月26日	木	6		1月17日	水	1	
4月22日	土	1		8月1日	火	1		10月30日	月	2		1月22日	月	2	
5月1日	月	1		8月4日	金	1		11月6日	月	4		2月1日	木	5	
5月2日	火	3		8月8日	火	1		11月9日	木	4		2月2日	金	1	
5月9日	火	4		8月9日	水	2		11月10日	金	1		2月5日	月	1	
5月10日	水	2		8月10日	木	1		11月14日	火	3		2月6日	火	3	
5月11日	木	3		8月16日	水	1		11月16日	木	1		2月13日	火	2	
5月15日	月	2		8月18日	金	2		11月17日	金	2		2月27日	火	4	
5月16日	火	3		8月21日	月	3		11月20日	月	2		3月5日	月	2	
5月17日	水	4		8月25日	金	3		11月27日	月	2		3月12日	月	1	
5月18日	木	2		8月28日	月	1		12月1日	金	1		3月15日	木	2	
5月19日	金	1		8月31日	木	3		12月4日	月	2		3月22日	木	1	
5月23日	火	4		9月1日	金	2		12月5日	火	4					
5月25日	木	1		9月4日	月	2		12月7日	木	1					
5月30日	火	2		9月11日	月	2		12月12日	火	3					
6月2日	金	3		9月13日	水	3		12月13日	水	1					
6月6日	火	5		9月14日	木	3		12月14日	木	1					
6月7日	水	3		9月20日	水	2		12月18日	月	3					
6月8日	木	1		9月21日	木	1									
6月13日	火	3													
6月14日	水	4													
6月15日	木	1													
6月20日	火	1													
6月21日	水	2													
6月27日	火	8													
6月28日	水	2													

# 栽培による保育園児との交流

## —サツマイモとタマネギの収穫を通して—

### 1. 目的・概要

本学から市バス停「平針南住宅」を越え、さらに西進すると天白公園に至る。天白公園が象徴するように、大学近辺は1990年代からの都市開発から逃れ里山が残された地区である。このように、この地区の人々は自然に対する愛着が高い。近隣の保育園児が、東は名古屋市農業センター、西は天白公園に徒歩で日常的に出かけ、裸足で活動する姿をよく目にすること。

この地区の例外にもれず、本学も緑に囲まれた自然豊かなキャンパスを備えた大学である。学生も自然と触れ合う活動に好感を示すものが多い。そこで、本学の農園での栽培活動をとおして、近隣の保育園の幼児と交流することは意義があることだと考える。①学生にとっても、野菜が日光、水、肥料から出来るのは驚きであり、そのことを通じて幼児と交流できることは、幼児の特性理解のために大変有効である。②幼児にとっては、日頃の園庭以外の場所で、あまり触れ合うことができない青年期の若者に接することは、人間理解の点から大きな意義がある。そして、③幼児、大学生ともに野菜の収穫を通して、心を通じ合うことは、素敵な地域、素敵な人たちと一緒に、これからも生産的に生きていこうという生きがいを与える。このことは本学の共生（ともいき）精神にも通じることである。

### (1) 除草作業、農園整備

春の活動は、タマネギ畑の除草、整備から始まる。図1は4年生9名が除草作業に取り組んでいる様子である。花壇にはパンジーなどの花も植えられているが、これは昨年11月22日に現4年生が耕運機による耕作、畝づくり、タマネギ苗植え、その他の花の植え付けを行ったものである。



図1 除草作業 2017.4.21.

### (2) チューリップの球根採集

作業を一部受け継いだ3年生4名がチューリップの球根を農園から採集した。保育園の幼児がタマネギを収穫したときに、誤ってチューリップの球根を持ち帰り調理し、お腹の調子を悪くすることのないように配慮したものである。



図2 チューリップ球根採集 2017.5.16.

### (3) タマネギの収穫

好天の下、あおぞら保育園児 40 名が本学の農園を訪れ、タマネギの収穫が行われた。



図3 音楽ステージで説明を聞く

### (4) サツマイモ掘り

続いて 3 年生 4 名が 6. 6. に畦作りを行い、6. 18. に苗植えを行った。そして、秋空の下、あおぞら保育園児 40 名が本学の農園を訪れ、サツマイモ掘りを行った。参加学生は 4 年生 4 名、3 年生 4 名である。



図4 お兄さんとタマネギ取り 2017. 5. 30.



る。

図5 音楽ステージでごあいさつ

### (5) 畦整備、タマネギ苗植え 2017. 11. 7.

タマネギの苗植えを 1 年生 5 名が行った。



図6 大きなおイモを探して 2017. 10. 27.

## 2. 担当部局

栽培指導、学生指導は横井一之（東海学園大学教育学部教授）が行った。

## 3. 所見・成果

タマネギ取り、サツマイモ掘りとともに幼児がケガをすることなく終了したことをまずは成果としたい。1 つの行事を終えるごとに子ども一人ひとりが一回り成長したことを信じたい。本学の学生については、本年の学修テーマの 1 つが Sustainability 教育（持続性教育）であったが、毎年繰り返されるタマネギ、サツマイモ栽培にそれを見い出した学生もいる。大きく言えば ESD の一環であると自負するところである。これからも根気強く、地域の方々、特に学部の特性から、特に幼児とともに栽培活動に取り組んでいきたい。

# 新豊田商店街振興組合コラボ 商店街 MAP プロジェクト

## 1. 目的・概要

愛知県が行なう「商店街地域連携促進事業」の一環として、新豊田商店街振興組合と東海学園大学経営学部が連携して同商店街の活性化を目指したプロジェクトを実施した。本プロジェクトの目的は、商店街のマンネリ化を開拓し、活気あふれるまちにすることである。その第1ステップとして、2017年度は学生のアイデアが詰まった商店街MAPの製作に取り組んだ。学生には、調査・企画から試作製作までの一連の作業を任せ、彼らが持つ知恵とアイデアをMAPへ反映させた。この活動を通じて、学生が主体的に学び合い、成功体験を重ねることで、能力や質を高めていくことを目指した。

本プロジェクトを実施するにあたり、本学と新豊田商店街振興組合との間で、「商店街活性化連携事業に関する協定書」を締結した（2017年5月11日）。

## 2. 担当部局

経営学部 経営学科	教授	伊藤久司
同	准教授	山田裕昭
新豊田商店街振興組合	代表理事	杉山 治
愛知県産業労働部商業流通課	主事	西部直人

## 3. 所見・成果

春学期は、19名が本プロジェクトに参加した。活動内容は、学内で新豊田商店街の事前調査を行なったり、他の商店街が作成しているMAPを調べたり、見やすさや面白さなどの特徴を分析し、新豊田商店街の旧商店街MAPと比較して課題を抽出した。その結果を踏まえて現地調査を実施し、商店街MAPの改善点などを明らかにした。

春学期が始まる前に新豊田商店街の役員4名から同商店街の現状とMAP製作に向けた学生への要望などを伝えて頂くことで、学生が真剣にプロジェクトへ取り組む雰囲気が醸成され、順調なスタートを切ることが出来た。学内では学生同士が意見を出し合い商店街の活性化につながるMAP案を検討した。中には、現地調査だけでなく、商店街の組合員へ直接ヒアリングするチームがあるなど、各チームが積極的な活動を見せ、学生らしいユニークなMAP案が作成できた。

春学期の最後には、新豊田商店街振興会組合の理事会でMAP案を発表し、組合員から良かった点や改善してほしい点など忌憚のない意見を頂き、よりレベルアップしたMAP製作に向けた産学連携活動が実施できたと考える。



現地調査をする学生



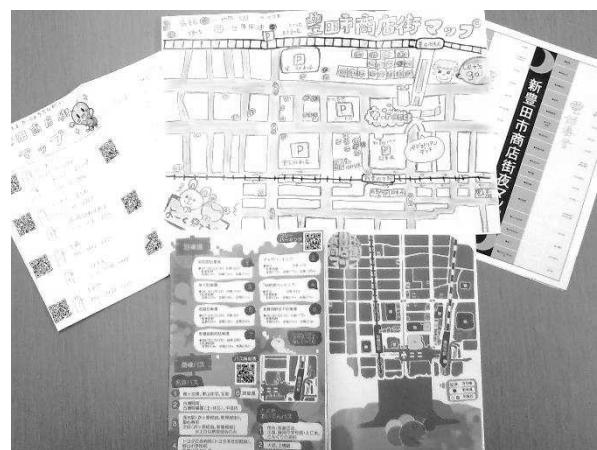
組合員へ質問をする学生

秋学期は、16名が本プロジェクトに参加した。活動内容は、新豊田商店街の組合員へのアンケート調査を実施し、新商店街MAPに反映させる情報や要望を収集した。このアンケート調査結果と、春学期の改善点を踏まえて、学生オリジナルの新豊田商店街MAPの試作品を製作した。

秋学期は、春学期の報告会で新豊田商店街の組合員から頂いた意見を反映させること、さらに当商店街にとって魅力的なMAPにすることを目標に具体的なMAPの試作品作りに取り組んだ。実際に形にしていくことが求められ、MAPの大きさ、デザインなど予算内に収める工夫をしながら、各チーム共に特徴的な試作品を製作した。Aチームは、運びやすさと見やすさを重視し、三つ折のシンプルな低コスト重視のMAPとなった。Bチームはトヨタ自動車を中心に自動車関連企業へ勤務するビジネスマン向けの「夜」と、ファミリーや主婦層をターゲットとした「昼」の2つの機能を有するMAPを考えた。Cチームは、ジャンル分けされた冊子型情報誌のように店舗情報を詳しく掲載したり、公共交通機関情報を掲載したり、利用者に配慮した。Dチームは、QRコードを活用し、MAPとWebの相互利用を目指したリアル&バーチャルMAPに仕上がった。



MAPの試作を検討する学生



学生が製作したMAP試作品

これらの活動が評価され、2018年3月16日（金）に優秀チームが愛知県主催「商店街地域連携成果報告会」での事例発表を行った。2017年度に商店街の活性化に取り組んだ多くの大学・商店街による連携事例の中で、本学を含む4つの取組みが選ばれ、本学からは新豊田商店街振興組合の理事会での発表で優秀チームに選ばれたCチームの学生4名が代表として力強く活動報告を行った。

発表は新豊田商店街の概要、学内での取組み内容、MAPの特徴、活動における良かった点、成長できた点、反省点などについて大学関係者や商店街関係者、および愛知県職員などに向けて行われた。加えて、一緒に取り組んだ新豊田商店街振興組合の杉山代表理事から連携によるメリットやデメリットが報告され、伊藤教授より活動のまとめと、今後の方向性が示され、実りのある連携プロジェクトとなった。



愛知県成果報告会で報告する学生



あいさつする森岡仙太愛知県副知事

# おやこエンジョイフェスティバルとうがく

## 1. 目的・概要

本企画は、本学教育学部保育専攻2年生に在籍する学生が基礎演習Ⅲの中で、造形・音楽・運動・パネルシアターに関するスキルを習得し、平成29年7月8日に体育館（名古屋キャンパス）にて、近隣に在住する親子100組（3歳以上就学前の幼児とその保護者）に発表するとともに、学生と親子が一体となって楽しい時間を共有することを目的とした。これらの目的を達成することで、学生の幼児理解が促進され、環境構成・安全への配慮を学ぶことができる。また、実習や将来を見越した保護者とのかかわりや社会的スキルを身につけることができる。

## 2. 担当部局

本企画は、教育学部保育専攻全教員が主となり行った。なお、基礎演習Ⅲの履修者および実施者は58名。運営に携わる学生ボランティアは20名であった。実施内容等の詳細は、表1参照のこと。

表1. おやこエンジョイフェスティバルとうがく実施内容

## ★おやこエンジョイフェスティバルとうがく★

みんな あつまれ!  
とうがくのおねえさん、おにいさんたちといっしょに楽しく遊ぼうよ!!  
「みて!」「ふれて!」「つくって!」「うたって!」「うごいて!」  
楽しい企画が盛りだくさん!! 楽しい時間をいつしまにすごしましょう!!!

### 造形あそび

星空に願いを!  
つくって、あそんで、星空飛行!

### 運動あそび

ふしきの森でだいぼうけん!!  
ゴールの先には…

### 音楽あそび

11びきのねこと  
いっしょにあそぼう!

### パネルシアター

花さかじいさん・金太郎。  
昔ばなしを見て下さい。

本企画の目的は、将来、保育士や幼稚園教諭になることを目指している学生が造形あそび・音楽あそび・運動あそび・パネルシアターに関する学習を地域に在住する親子へ発表するとともに、一体となって楽しい時間を共有することです。是非、ご参加下さい。

★日 時：2017年7月8日（土）10:00～12:00【受付9:30～】

（受付は、9:30からです。開催時間中は随時受け付けます。ご都合の付く時間からご参加ください。）

★会 場：東海学園大学 名古屋キャンパス体育館

★主 催：東海学園大学教育学部教育学科保育専攻

★参加対象：3歳以上の幼児とその保護者

★定 員：先着100組（定員になり次第締め切らさせていただきます。）

★参加費用：無料

★申込方法：専用ホームページからお申込みください。

<https://oefttokaigakuen.wixsite.com/oeft>



●参加決定通知方法と参加者の確認について

●参加いにける方にはメールにてお知らせいたします。当日、名簿にてご参加の確認をさせていただきます。

●服装や持物について

●動きやすい服装（上履き持参）でお越し下さい。水分補給のための飲み物や汗拭きタオルなどもご準備下さい。

●参加対象は3歳以上の幼児とその保護者となります。乳児への対応はいたしかねます。

●保護者は待機しておりますが、体調の自己管理をお願いいたします。

●お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

●お子さまだけのご参加は御遠慮ください。

●保護の対象は3歳以上の幼児とその保護者のみとなります。

●本学の関係者が研究記録と大学の広報のために撮影することがあります。ご理解をお願いします。

●なお、申し込みをもって同意を得たものと致します。ご了承下さい。

●写真やビデオの撮影はプライバシーに注意をお願いします。撮影された画像や動画をSNSなどに掲載・投稿しないでください。

★お問合せ先  
[oeft\\_contact@yahoo.co.jp](mailto:oeft_contact@yahoo.co.jp)



東海学園大学

名古屋キャンパス  
〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目901番地

### 3. 所見・成果

本企画は、教育学部保育専攻2年生に在籍する学生が基礎演習Ⅲの中で、造形・音楽・運動・パネルシアターに関するスキルを習得し、近隣に在住する親子100組に発表するとともに、学生と親子が一体となって楽しい時間を共有することを目的とした。この企画を実施した結果、最終的な参加者数は65組であった。延べ人数は、200名程度であった（参加者の家族構成にばらつきがあったため）学生は幼児理解の難しさや年齢に応じた遊び、保護者対応等を学ぶことができ、実施後のアンケートにもその旨記載されていた。また、自己の得意分野や苦手分野に関する知識・技能を身につけることができ、満足度も高かった。

参加者についてもこれまで、このような行事などがなかったため、今後とも継続してほしいという声や4つの領域に分類していたため、多面的に楽しめたなど多くの反響を得た。

これらのことから、今後も学生の資質向上と地域との連携を志し、このような企画を実施していくたい。

図1. 当日受付



図2. 実施内容①



図3. 実施内容②



図4. 実施内容③



# 平成29年度 豊田市 学生によるまちづくり提案 「ホテルメニュー開発プロジェクト」

## 1. 目的・概要

### 【目的】

豊田市主催「学生によるまちづくり」事業は、学生の視点を活かして大学のある豊田市が、暮らすまち、活動するまちとして、楽しく、魅力ある街へ発展することを目的として実施するものです。公益財団法人豊田市文化振興財団と東海学園大学寺嶋ゼミ（代表者 木岡一輝）との間で、財団が事業にかかる負担金（交通費の一部）を支払うこととする協定を締結しました。

### 【概要】

豊田市が主催する「学生によるまちづくり」事業のうち、「ホテルメニュー開発プロジェクト」に参加しました。これは、豊田市の呼びかけで、豊田市の名産品である愛宕梨、緑茶（ほうじ茶）、ジビエを使ったホテルメニューを開発するプロジェクトで、寺嶋ゼミでは“緑茶の疾病予防効果と緑茶を用いた料理”を研究している事もあり、多くのアイディアから試作品を作り、さらにホテルシェフと試行錯誤を重ねて、「あたご梨のまつ茶ルト」を完成させました。

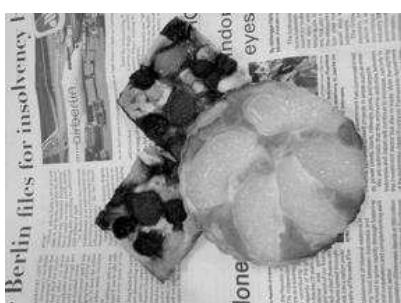
この「あたご梨のまつ茶ルト」メニューは、平成29年11/18（土）～12/17（日）に開催された《とよたグルメフェア》で、ホテルトヨタキャッスルが一般の皆様に提供し好評を博しました。

## 2. 担当部局

公益財団法人豊田市文化振興財団ならびに東海学園大学寺嶋ゼミ学生8名（代表者 木岡一輝）

## 3. 所見・成果

平成29年8月、寺嶋ゼミでは“緑茶の疾病予防効果”を研究している事もあり、主に緑茶と愛宕梨を用いた試作品を作りました。以下に例を示します。①とよた梨のタルト & 梨とベリーのタルト：今回の「あたご梨のまつ茶ルト」の原型となったもので、試作品は梨の水々しさが残っていました。②とよた梨のタルト、ベリーを添えて、③とよた梨とベリーのピッツア、④とよた梨の肉巻き：豚肉と梨の食感が皆に大好評であり、これを猪肉にすればジビエと梨のコラボ料理となります。



①とよた梨のタルト& 梨とベリーのタルト



②とよた梨のタルト、ベリーを添えて



③とよた梨とベリーのピッツア



④とよた梨の肉巻き

これらの試作品を持って、ホテルトヨタキャッスルの料理長、パティシエ様と協議、試行錯誤を加えて完成させたメニューが以下に示す「あたご梨のまっ茶ルト」です。11月に行われたホテルプロジェクトの試食会でも大変好評で、11月から12月にかけて開催された「晩秋のとよたグルメフェア」では、ホテルトヨタキャッスル様のスイーツメニューとして提供されました。



〈東海学園大学 寺嶋ゼミ、ホテルトヨタキャッスル共同開発「あたご梨のまっ茶ルト」〉

〈晩秋のとよたグルメフェア〉

少し寒くなってきた12月の土曜日に、ホテルトヨタキャッスルでグルメフェアのランチを食べました。もちろんその後は、「あたご梨のまっ茶ルト」を賞味しました。プロのパティシエ様の手にかかると、タルトもこんなに美味しくなるんだなーと実感しました。ちょうど、クリスマスの頃でしたので、大変良い思い出となりました。



〈晩秋のとよたグルメフェアでお世話になったパティシエの方と〉

平成30年1月には、豊田市役所で「学生によるまちづくり提案」の反省会がありました。今回のホテルメニュー開発プロジェクトは、自分たちで考案したメニューが実際にホテルで提供されるまでの試行錯誤のプロセスが、大変良い勉強になりました。卒業後は、管理栄養士として「食の現場」で働くことになる栄養士の卵にとって、大変貴重な経験をさせてもらいました。豊田市の職員様、ホテル関係者様、特にホテルの料理長、パティシエ様、本当にありがとうございました。

# 碧南市藤井達吉現代美術館における 造形ワークショッププログラム

## 1. プログラムの目的と概要

碧南市藤井達吉現代美術館において、子ども造形に関する教育事業・地域文化振興事業として子ども対象にワークショップが開催されている。その中で、2017年夏休みワークショップとして、小学生対象・幼児とその保護者対象の造形ワークショップを企画・実施した。そのプログラムにおいて、学生が、ワークショップ活動補助等のボランティアスタッフとして参加した。

活動の目的は地域への貢献と学生の成長の両面である。まず、美術館という場所が、芸術を鑑賞するだけでなく、芸術をつくり出す様々な技法や素材・表現に触れることができる場であることを目指し企画を進め、地域の子どもたちの文化芸術活動の場をつくる。さらに学生が造形活動を通して、造形芸術の意義や大切さを学び、人とかかわる力や思いやる心を養い、豊かな人間性をはぐくむことが目的である。

具体的な活動内容は、2つの造形ワークショップを企画・実施した。はじめに、2017年8月1日(火)10:00～16:00、夏休みワークショップとして「枝とひものまきまき造形」を開催した。小学生対象の造形ワークショップで、自然素材である枝と、様々な種類と色のひもをつかった造形活動である。思いのまま、感じるままにひもを枝に巻き付ける。午前中は個人制作をおこない、午後からは共同制作による空間表現をおこなった。

次に、2017年8月2日(水)10:00～12:00、親子ワークショップとして、「親子でまきまき造形あそび」を開催した。3～6歳の幼児とその保護者対象の造形ワークショップで、小学生対象ワークショップ同様、枝とひもをつかった造形活動である。親子で協力しながら造形あそびの活動をおこなった。

## 2. プロジェクト担当者・氏名

教職員

小島雅生 東海学園大学教育学部・准教授

協力機関

碧南市藤井達吉現代美術館

## 3. 所見・成果

碧南市藤井達吉現代美術館において、教育学部の小島雅生が開催する造形ワークショップは、美術館や地域にとっても夏の恒例行事となっている。芸術活動・ものつくりをしている作家として、技術や知識と共に、考え方や価値観、芸術への向き合い方、生き方等を子どもたちに伝えてほしいという美術館の要望を考慮し、プログラム内容を企画・実施している。またその活動に、主体的に参加し、造形ワークショップのスタッフとしてボランティア活動をおこなう学生が存在する。

8月1日に開催した「枝とひものまきまき造形」は、1年生2人、2年生3人、3年生4人、5年生2人の合計11名の小学生が参加した。子どもたちが自ら考え、発見し、造形活動を心から楽しむ姿が見られた。ボランティアとして参加した学生は教育学部学校教育専攻・保育専攻の男子学生3名であり、その学生においても、子どもたちに寄り添い、子どもたちの気持ちや思いを大切にしながら共に活動を楽しむことができ、充実した機会となった。



8月2日に開催した「親子でまきまき造形あそび」は、3～5歳の幼児7名とその保護者の合計6組の参加者があった。幼児がいろいろなことに興味を示し、あそびを通して造形活動を楽しんだ。また、保護者はその姿を見守りながら、共に造形活動をし、積極的に子どもとかかわりながら、造形活動を楽しむ姿が見られた。ボランティアとして参加した学生は教育学部保育専攻の女子学生1名であり、その学生もまた、親子の造形活動に触れ、造形活動の大切さや楽しさとともに、親子間のコミュニケーションの大切さを学ぶ機会となった。



いずれの活動についても、学生にとって有意義なものとなった。参加した学生は、造形活動を通して地域の方々と交流することによって、積極的な人とのかかわり、コミュニケーション能力を培うことができた。また、ともに感動し喜び合える、豊かな人間性をはぐくむことができた。参加者数も美術館の環境を考慮し設定された定員に近い参加状況であり、次年度以降も継続依頼があり、2018年度も実施計画中である。

# **健康栄養プラザ 本コース「正常血圧を維持しよう」**

## **1. 目的・概要**

<目的>

「健康栄養プラザ」は地域住民の健康増進を目的に年間約10回開催している。本報告書における会では多くの疾患懐疑に関与する高血圧の予防を目的として、医師による講義と管理栄養士による調理実習を行った。

<概要>

開催日：平成29年8月5日（土） 10時～13時

開催場所：東海学園大学 名古屋キャンパス4号館1階 調理実習室およびマナー室

講 師：加藤忠教授（健康栄養学部）

石原美由紀氏（管理栄養士）

参 加 者：23名（17歳～79歳、男性3名 女性20名）

内 容：テーマ「正常血圧を維持しよう」

加藤忠教授による血圧調整の仕組み、高血圧と疾患との関連に関する講義

石原美由紀管理栄養士による高血圧を防ぐための調理実習

・本会は天白保健所との共催で開催した。

## **2. 担当部局**

<運営担当>（健康栄養プラザ担当）

東山幸恵、古橋啓子、尾崎浩平、安藤恵、大谷香代（東海学園大学教員、助手）

<講義・実習担当>

加藤忠（本学教授）、加藤美由紀（管理栄養士）

## **3. 所見・成果**

平成29年度健康栄養プラザ本コースの第三回として企画した本会は、天白保健所との共催講座として開催した。業務分担として、会の企画・参加者の募集・講師依頼・当日運営に関しては本学健康栄養学部健康栄養プラザ担当者が、食材調達ならびに当日補助、名古屋市のエコロジーへの取組みに関する参加者への説明については名古屋市天白保健所（加藤真由美管理栄養士）が担当した。

当日の講義では、血圧調整の仕組みや高血圧の種類、その合併症に関し、市民にとって身近であるものの難解な内容を、図や写真を多く用いた分かりやすい講義が展開された。高血圧だけではなく、高齢者に多い起立性低血圧についても説明があった。

講義後の調理実習では、“鶏肉とパプリカのカシューナッツ炒め、ひじきのビタミンサラダ、大根のごまみそ汁、レモンスカッシュ”を、班に分かれて調理した。受講者はだしの旨味や酸味を活かすことで少ない塩分量でも美味しく食べられることを、実習を通して学ぶことが出来た。

天白保健所の加藤管理栄養士からは、名古屋市で行われている食品ロスを減らすための運動【3ない運動、30(さんまる)・10(いちまる)運動】や、災害時の備蓄食品に関する取り組みに関する紹介があった。また、健康づくりを目的とした教室参加によりポイントを取得することで、愛知県内の協力店で様々なサービスが受けられる“あいち健康づくり応援カード～MyCa（まいか）～”、および「なごや健康マイレージ」についても説明があった。

今回の健康栄養プラザの実施により、地域住民に対し、高血圧を防ぐための食についての知識と技術のみならず、自治体が実施する健康施策を直接聞く機会を提供することが出来た。

また、今回は本学健康栄養学部管理栄養学科の学生 6 名がボランティアとして参加し、調理準備、講師助手、調理中の補助、後片付けなど講座の円滑な運営に貢献した。この活動と受講者との交流を通して、管理栄養士に必要な調理技術やコミュニケーション能力を涵養する教育機会を得ることが出来た。



# なごや健康カレッジ「健康學ノススメ 2017」

## 1. 目的・概要

【委託契約書あり、委託金あり】

なごや健康カレッジとは名古屋市と市内及び周辺の大学とが連携し、地域介護予防事業の一環として実施している高齢者向け健康づくり事業である（平成 29 年度は 15 大学が参加）。本学は事業開始年度（平成 17 年度）から参加しているが、「健康學ノススメ 2017」は平成 29 年度に実施した「なごや健康カレッジ」の本学の講座名であり、通算 13 回目となる。

本講座では、受講者が各種の運動を体験することで、運動の楽しさや効果を実感し、講座終了後にも自主的に運動を継続できるようになることを主な目的としている。また、各回の最初に簡単な講義を行い、運動に対する科学的な理解を深めることも目的の一つとしている。

29 年度は平成 28 年 10 月 6 日～29 年 1 月 19 日までの毎週木曜日午前 9：45～11：15 に、名古屋キャンパス体育館や天白公園を会場として全 13 回実施した。受講者は 65 歳以上の高齢者 32 名であった。

本講座の特徴は、スポーツ健康科学部の学生が運動指導や運営に積極的に関わっていることである。

「健康學ノススメ 2017」の 13 回の講座内容は以下の通りである。

- 1、開講式およびガイダンス
- 2、ニュースポーツ（カローリング）（1）
- 3、若々しいカラダをつくるストロー筋トレをマスターしよう（1）
- 4、ポールウォーキング（1）（基礎編：体育館）
- 5、ニュースポーツ（スポーツ吹矢）
- 6、ポールウォーキング（2）（応用編：天白公園）
- 7、若々しいカラダをつくるストロー筋トレをマスターしよう（2）
- 8、交感神経を鍛える（交感神経を鍛えるポイントとそのための運動）
- 9、コーディネーション運動（1）（バランスボール＆ステップ運動）
- 10、講義「口の健康」およびコーディネーション運動（2）（小ボールを使った運動）
- 11、ウォーキングチェック（ウォーキングの仕方と自己チェック）
- 12、コーディネーション運動（3）（バランスボール＆ストレッチボール）
- 13、講義および閉講式

## 2. 担当部局

健康開発支援センター

担当者

講師：島岡清（スポーツ健康科学部特任教授・健康開発支援センター長）、梶岡多恵子（教育学部教授）

齊藤満（豊田工業大学名誉教授）、中澤正枝（天白保健所歯科衛生士）、木村綾子（日本スポーツ吹矢協会指導員）、高須史織（本学卒業生・健康運動指導士）

学生スタッフ：スポーツ健康科学部 3 年生 13 名、4 年生 1 名

## 3. 所見・成果

講座終了時の受講者アンケート調査では、「今までよりたくさん歩くようになった」、「階段をより多く使うようになった」、「筋トレを行うようになった」、「自分の体力に感心を持つようになった」などの項目について多くの参加者が「あてはまる」と回答した。また、講座終了後に本学の健康運動倶楽部に参加して運動を継続する者もいた。これらのことから、参加者の多くが本講座をきっかけとして自分の体力を意識し、運動するようになったと推察される。したがって、講座の目的はある程度達成することができたと考えている。

また、参加した学生にとっては、実際の健康づくり活動に参加することで、現場における応用力やコミュニケーション能力などの実践力を高めることに大いに役立っている。

#### 4. 参考資料

以下に「健康學ノススメ 2017」の講座風景の写真を示す。



カローリング 2017. 10. 12



ポールウォーキング 2017. 11. 9



スロー筋トレ 2017. 11. 16



交感神経に関する実習 2017. 11. 30



バランスボール 2017. 12. 7



口の健康に関する講義 2017. 12. 14



ストレッチポール 2018. 1. 11



参加者の記念撮影 2018. 1. 18

# 根羽村創生プロジェクト (Neba-Mura “Never Give Up Project” )

## 1. 目的・概要

根羽村は長野県の最南端、愛知県との県境にある山村である。かつて 2,000 人を超えた人口も、現在は 926 人と 1,000 人を切り、典型的な「限界集落」となりつつある。西村ゼミは一昨年、同村の村会議員や企業の幹部の訪問を受け、同村の活性化・創生に関し、アドバイスを求められた。

これに対し、少子高齢化という日本における最大の長期的問題を、ゼミ全体で経営的な立場から考察するのは、非常に良い機会ととらえ、昨年秋学期より、1 年生のゼミの研究課題として取り組み始めた。そして、10 月 28 日、ゼミ生 13 名と根羽村を訪問し、同村の村議会議員、商工会会員、観光協会、教育委員会、森林組合のメンバー、総計 12 名と懇談する機会を得た。その模様は、11 月 2 日付の南信州新聞に掲載された。

具体的には、ゼミ内に①村の HP などを SNS で発信する IT チーム、②インバウンドの観光客を取り込むために、村に関する情報を英語化し発信する英語チーム、③村の歴史や文化を探索・調査し、発信するためのコンテンツを作成する歴史・文化チーム、④村の産物、特に観光資源や、森林資源を利用した新産業を提案する環境チームの 4 チームを形成し、それぞれのチームが課題を策定し、活動するとともに、チーム同士で連携をとり、最終的には纏まった構想として同村に提案できるように調査・研究を実施することを提案し、同村関係者の協力をお願いして了承された。

現段階では、まだ意見のすり合わせの段階で、協定書には至っていない。また、委託金などの取り決めもなく、基本的にボランティア活動として当面継続する。

## 2. 担当部局

本学担当：経営学部 経営学科 教授 西村 真

根羽村担当：根羽村創生プロジェクト推進協議会（仮称）

- 情報関連：観光協会
- 森林資源関連：森林組合
- 歴史・文化関連：村役場、各企業、専門家

## 3. 所見・成果

10 月 28 日の根羽村訪問時に、4 チームが村の創生活動計画案を発表し、推進協議会のメンバーとディスカッションを行った。IT チームは、根羽村の情報を伝えるために、SNS の利用を提案した。ホームページだけでは一方向性の情報しか発信できないため、双方向性のメリットを活かした情報発信方法や短編小説の製作を検討している。英語チームは、根羽村のホームページを英語に翻訳し、外国人観光客に興味を持つもらうことを提案した。また、IT チームと連携し、SNS での情報発信を検討している。歴史・文化チームは、根羽村の歴史的建造物や場所を追求し、魅力を引き出すことを目的としたオリジナル映像の製作を提案した。根羽村の人しか知らない歴史やエピソードなど発信することを検討している。環境チームは、根羽村の美しい景色が堪能できるツアー企画や特産物を利用した料理、木を利用したグッズ製作の提案をした。

ゼミが 1 年生末で再編成されることもあり、本活動は一応予備調査という形で、平成 29 年度の活動を終えた。但し、ゼミ生 14 名が、本プロジェクトに興味を持ち、これを継続するために同ゼミに継続して所属することを希望したため、平成 30 年度より、新たにプロジェクトを組み、本格的な活動に入ることとなった。本年 3 月 20 日に各チームの代表と共に、再度ゼミとして根羽村を訪問し、森林組合や観光協会、各企業などの関係者と面談し、プロジェクト継続の意向を伝え、新たに動き出す予定である。

一方、少子高齢化問題の学習としては、春休みに『地方消滅』増田寛也著 中公新書、『デフレの正体』藻谷浩介著 角川新書、『人口と日本経済』吉川洋著 中公新書を読み、同問題に関する意識を深めた。所見としては、まだ成果を論ずるには至らず、根羽村側もゼミの側も試行錯誤を繰り返している段階である。



推進協議会のメンバーとディスカッション



根羽村の歴史を物語る大杉



根羽村の文化を継承するお祭りへの参加交流・ヒアリング

**若者の力で地域活性化を**

根羽村 東海学園 大学（愛知県みよし市）との連携による地域活性化プロジェクトで、同大の学生と懇談が始めた。西村教授のゼミに所属する1年生15人が10月から来年3月までの半年間、村内の住民と一緒に活動を始めた。この活動は「少子高齢化や人口減少の問題は真剣に取り組んでもなかなか成果が出ない。難しい問題だが、若い人の視点で打開してほしい」と期待を込めた。学生たちは、S.N.（角井の片桐隆則社）に分かれて事業を取り組む。

同日村を訪れた学生たちは、村内で昼食を味わい、月瀬の大杉を見学して地域の祭りにも参加した。懇談会で村観光協会の菅沼律雄会長は「少子高齢化や人材不足の問題は直面するが、提案された作り直しを提案した。また、村森組合を中心とした木づかいプロジェクト、どこでもシリーズなど、木の体験事業について取り組みを紹介した。環境チームリーダーの松山忠勝さんは「この飯がおいしく自然な豊かなところで魅力はたくさんある。村の方々が温かく迎えてくれ、地域を良くしようと本気になつて取り組んでいた。若い気持ちが伝わってきた。若い視点から少しでも力にななりたい」と話していた。

**休日夜間急患診療所**  
☎23-3636(飯田市東中央通)  
○診療科目  
内科・小児科  
○診療時間  
午後7時～10時半  
(受付は午後10時まで)  
○電話案内 24時間



南信州新聞 11月2日付

# 名古屋市農業センターまつり

## 1. 目的・概要

本学と名古屋市農業センターは、平成28年4月に地産地消や健康づくりに関する連携協定を締結しており、名古屋市農業センターで行なわれる様々なイベントへの協力をしている。今回、その一環として、平成29年11月3日（祝・金）～5日（日）に開催された農業センターまつりで健康栄養学部の学生が出店した。ウォーキング大会と子ども向け食育紙芝居の上演を行った。ウォーキング大会では、本学学生が作成した農業センターのウォーキングルートを地域の方々に歩いていただいた。また、食育紙芝居は農業センターをテーマに学生が作成したもの上演した。

## 2. 担当部局

教員 中出 美代 東海学園大学健康栄養学部 准教授  
長幡 友実 東海学園大学健康栄養学部 准教授  
高柳 尚貴 東海学園大学健康栄養学部 助教  
尾崎 浩平 東海学園大学健康栄養学部 助手  
西堀 すき江 東海学園大学 副学長／健康栄養学部 教授  
学生 健康栄養学部生 14名

## 3. 所見・成果

ウォーキング大会では、学生が作成したウォーキングマップに掲載したルートを約10名の参加者に気持ち良く歩いていただくことができた。また、食育紙芝居は、農業センターを題材に学生が手作りしたものを上演し、約50名の子どもと保護者が集まり大盛況であった。学生は、来場者と接する中でコミュニケーション力を高めることができ、また健康や栄養について地域の方々に伝える難しさを経験することができた。学生自らが健康や食に関して情報発信していく良い機会となったと考えられる。



本イベントに参加した健康栄養学部の学生達



学生が作成したウォーキングマップ



ウォーキング風景



学生が作成した食育紙芝居の一部



紙芝居上演風景



農業センターまつりチラシ

# 「食の物語フェア 北部マルシェ」

## 1. 目的・概要

豊山町に昭和 58 年 3 月に開設以来、33 年目を迎えた名古屋市中央卸売市場北部市場は、野菜や果物、魚など多種多様な生鮮食料品を全国の産地から集荷し、一般消費者へ安心・安全・安定的に供給するという重要な役割を担っている。

こうした産地から消費者までの生鮮食料品の流れを『食の物語』としてとらえ、平成 22 年(2010 年)より消費者に紹介するイベントが開催されている。平成 29 年(2017 年)は、イベントサブタイトルを「北部マルシェ 2017」とし、食に関する様々な情報を提供し、食育推進、生鮮食料品の需要拡大に寄与するとともに、消費者に親しまれる市場づくりを目指すことを目的としている。

東海学園大学をはじめ他の大学や業者の展示、生鮮食品等の格安販売だけでなくステージゾーンでは各種のイベントが開催され大盛況であった。東海学園大学は、骨密度測定、野菜の摂取目標量 350g 測定クイズの啓発ブースで学生と教員等合わせて 16 名が対応した。

## 2. 担当部局

【東海学園大学ブース】

《骨密度測定／野菜の摂取目標量 350g 測定クイズ》

教員

端井しげみ	東海学園大学健康栄養学部・准教授
徳永佐枝子	東海学園大学健康栄養学部・准教授
尾崎 浩平	東海学園大学健康栄養学部・助手
木村 幸子	東海学園大学健康栄養学部・助手
西堀すき江	東海学園大学副学長/健康栄養学部・教授

学生

健康栄養学部 11 名

## 3. 所見・成果

名古屋市中央卸売市場北部市場主催の『食の物語フェア 北部マルシェ 2017』に多くの学生がボランティア活動として参加した。

広大な市場がステージゾーン、水産産地・販売ゾーン、青果産地・販売ゾーン、グルメゾーンに区分され朝早くから大勢の参加者が集まり活気あふれるイベントであった。

東海学園大学のブースでは、骨密度測定の準備を行なっている最中から測定希望の行列が出来るなど骨密度測定に対する関心の高さが伺えた。学生ボランティアは、測定希望者の整理、測定、測定後の食生活アドバイスなどを手際よく行ない、なるべく測定者の方々の待ち時間が少ないように配慮した動きであった。野菜の摂取目標量 350g 測定クイズに関しても、大勢の参加者の方が楽しみながら野菜摂取について考える機会として栄養情報の提供を行なった。

学生は、参加者への対応を通してコミュニケーションの大切さを学び、骨密度測定結果を分かりやすく測定者の方々に説明するために必要な栄養の知識を実践して深めていた。



学生ボランティア 11名、教員等 5名の参加者



野菜の摂取目標量 350g 測定クイズの風景



骨密度測定の風景



大勢の参加者でにぎあう東海学園大学のブース

# 名古屋グランパスエイトとの名鉄三好ヶ丘駅における

## J1 成績情報ボードの設置・運営

### 1. 目的・概要

みよし市と株式会社名古屋グランパスエイト（以下グランパス）の間では相互支援協定を2017年2月に締結している。この協定において本学がみよし市にキャンパスを有するというご縁から経営学部丸山ゼミとして参画することで、みよし市の地域活性化、グランパスの観客動員増につながる連携をおこなうことが目的である。この連携を通じて、学生の関心の高いサッカーを題材に経営学の学びと実際の現場をリエゾンすることで地域の中でのアクティブラーニングを実践している。

具体的には、最初にみよし市教育委員会にゼミで訪問し、みよし市とグランパス間での相互支援協定における活動内容について学生がインタビュー調査を実施した。この調査結果をもとに、ゼミで実施可能な新提案を議論してまとめあげた。この提案について本学にグランパス、みよし市からご担当者様をお招きして学生がプレゼンテーションを実施した。その提案内容の一部として名鉄三好ヶ丘駅にグランパスの試合結果ならびに順位表の情報ボードを設置するという案を提示した。この案が採用され、グランパスと連携して学生が情報ボードを制作し、名鉄三好ヶ丘駅に設置した。

今後も、グランパス・みよし市と連携しながらホームタウン活動に参画、アクティブラーニングを実践していく。

### 2. 担当部局

教員 丸山一芳 東海学園大学経営学部准教授

学生 丸山ゼミ 2年生（15名） 3年生（1名）

学外協力者 大杉允人様 名古屋グランパスエイト

大島美由紀様 名古屋グランパスエイト

金丸善一郎様 みよし市 教育委員会

成田恭平様 みよし市 政策推進部 ほか

### 3. 所見・成果

#### （1）2017年11月13日 みよし市教育委員会訪問

ゼミでみよし市教育委員会に訪問し、スポーツ課副主幹甲村様、主任主査金丸様よりグランパスとの連携の経緯、活動内容について学生が主体となってインタビュー調査を実施した。この際に、丸山ゼミの参画を打診し、今後の提案活動についてご了承をいただいた。はじめての地方公共団体への調査訪問で1年生であった学生は緊張していたが現場での社会との交流を体験した。



## (2) 2018年3月1日 「名古屋グランパスとみよし市の連携協定に関する提案発表会」を開催

本学教室に、みよし市から金丸様、成田様、グランパスから大杉様をお迎えして、学生から提案をプレゼンテーションする発表会を開催した。それまでの間に、Jリーグやプロ野球、海外のプロスポーツクラブが地域においてどのような活動を行っているのかについてベンチマークを実施し、その内容をまとめてケーススタディとして考察するなどをゼミで議論してきた。そこからみよし市におけるグランパスのホームタウン活動として現実的に丸山ゼミで活動できる内容を提案したものである。プレゼン内容は、グランパスでの学生インターンシップの実施、みよし市の名産品とグランパスのコラボレーション、東海学園大学でのパブリックビューイング、三好ヶ丘駅での試合結果、順位表掲示といった多岐に渡るものであった。活発なる議論と質疑応答で、グランパスとの連携活動を実施することが決まった。

様々なステークホルダーを交えて交渉することや論理的にプレゼンテーションを行うことの困難さを学生は学んだ。



## (3) 2018年4月20日 グランパスクラブハウス内にて試合結果・順位表ボード作成

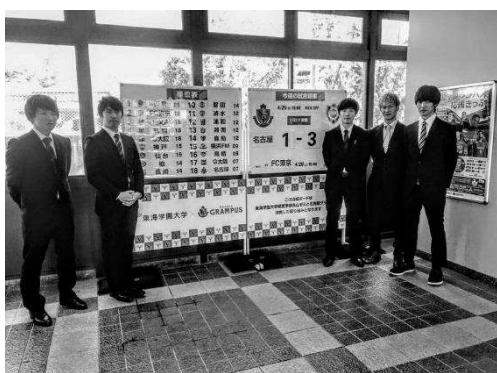
グランパス美術部などの皆様からご指導いただきながら学生のアイデアを試合結果・順位表ボードに仕上げた。プロサッカーハウス運営の現場を垣間見ることや、仕事を最後までやり抜くことについて学んだ。



## (4) 2018年4月26日 名鉄三好ヶ丘駅に試合結果・順位表ボードを設置

名古屋鉄道、グランパスのご関係者様立ち合いのもとで設置した。ボードの安全性確保など設置の最終場面において多くの困難が続いたが、学生なりに試行錯誤を繰り返して、現場での問題解決や責任感、やり抜く力について実感できたようである。ボードを見てグランパスについて話をする市民の姿を見て学生たちは大きな達成感と自信を得ることができた。

学生からの新提案をもとに、引き続き、グランパス、みよし市と連携したアクティブラーニングを継続していく。



# 「第五回浄土宗宗門大学社会連携企画報告会」の開催

## 1. 目的・概要

浄土宗宗門大学を東西のブロックに分け、各ブロックの大学が会場を持ち回りで、それぞれの大学で行われている地域・社会に貢献する活動を紹介・報告して、今後の連携やさらなる展開を考える。第5回目にあたる平成29年度の西部地区の幹事は東海学園大学が担当し、同地区の諸大学(佛教大学・京都華頂大学・華頂短期大学・京都文教大学・京都文教短期大学)と数回の打ち合わせ会議を経て、平成29年12月16日(土)13時30分より本学名古屋キャンパスにおいて開催された。

当日のタイムスケジュールは、右下のとおり。



## 2. 担当部局

主催団体として浄土宗宗務庁は浄土宗社会福祉推進事務局が担当、各大学はそれぞれさまざまな部局が担当しているが、本学は宗門関係事業であるということから窓口として共生文化研究所が主に担当、地域連携室の協力を得ながら、学内事務局の研究所所員に多大なご尽力をいただいた。

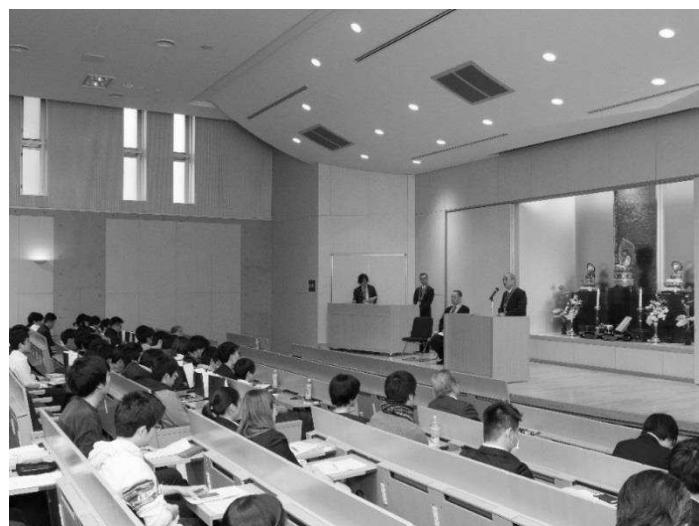
14:00	開会挨拶・趣旨説明
14:20	取組・活動報告
14:20~14:40	
14:40~15:00	
15:00	休憩
15:10~15:30	
15:30~15:50	
15:50	浄土宗・財団 取組報告
16:00	休憩
第2部	
16:20	学生たちによるパネルディスカッション
17:00	総評・閉会の挨拶
17:20	懇親交流会

なお、本学の取り組み紹介の一例として、「ちいーむともいき」消防団員による活動報告が行われた。また、同組織の構成母体である経営学部加藤實ゼミの加藤先生には、活動報告の指導とともに、今回紹介したすべての取り組みに対しての総括講評を担当いただいた。

### 3. 所見・成果

他の大学の活動報告に刺激を受け、報告会終了後の簡単な親睦会でも種々の意見交換が活発になされていた。このような交流によって新しい知見やアイデアが芽生え、さらに活動が展開、かつ盛んになるという点では大きな成果があったと考えられる。

一方、浄土宗の各寺院や地域の壇信徒、ならびに近隣の一般の方々の来場を期待して広報活動(寺院への告知・ポスター配布等)は実施されていながら、動員は芳しくなかった点は反省し、次回以降の改善策を必要とする。



# 天白ご当地動画プロジェクト

## 1. 目的・概要

近年、自分の住んでいる街の魅力をPRするご当地動画の制作が増えている。それぞれの自治体のあまり知られていない情報を、国内ならびに国外へ積極的にアピールするツールとして、それぞれの自治体の資源と個性を生かしたプロモーション動画となっている。

人文学部武市ゼミの学生は、名古屋キャンパスのある天白区の魅力を映像で伝えるご当地動画を作成した。天白区役所企画経理室の協力の元、地元で生産されているあいち伝統野菜の八事五寸人参の収穫風景をスタジオ番組形式で紹介する番組と、区内の名所名跡を歩いて巡るミュージックビデオの2種類の動画を作成した。2018年1月24日～2月2日の期間、天白区役所1階情報コーナーにて上映され、区民に向けて公開された。

## 2. 担当部局

教員

武市久美 東海学園大学人文学部准教授

学生

人文学部 武市ゼミ学生 4年6名

3年14名

天白区役所企画経理室

## 3. 所見・成果

2017年10月下旬に、天白区に関する動画を作りたいという企画が学生たちから提出された。ゼミで企画の検討を行う中で、天白区役所に協力を願いできればとの声が上がり、ゼミ学生代表者が天白区役所を訪問し、取材や動画公開に関する協力依頼をし快諾していただいた。企画は2番組でまとまり、ゼミ生が2グループに分かれてそれぞれ構成案や絵コンテを作成した。12月初旬に撮影候補地を下見・仮撮影を行った後、12月下旬に区内各所にて本撮影をした。学内スタジオで編集作業を行い、2018年1月下旬に作品が完成した。天白区役所企画経理室の方と共に作品の試写会を行い、1月下旬から2月初旬にかけて天白区役所1階ロビーにて上映された。

学生たちは、普段過ごしている天白区の歴史や名所について、自分の足で歩いて取材し撮影ことで理解が深まったようである。また、区役所の方から八事五寸人参の農家の方を紹介いただくなど、学生だけでは及ばなかった部分について、多くの方にご協力いただいたことを感謝している。

番組を見た方からは、「学生らしい視点で区について紹介されていて楽しく見ることができた。」「2番組がそれぞれテイストが違っていてお互い引き立てあってよかったです。」などお褒めの言葉をいただき、今後の学びの励みになったようである。

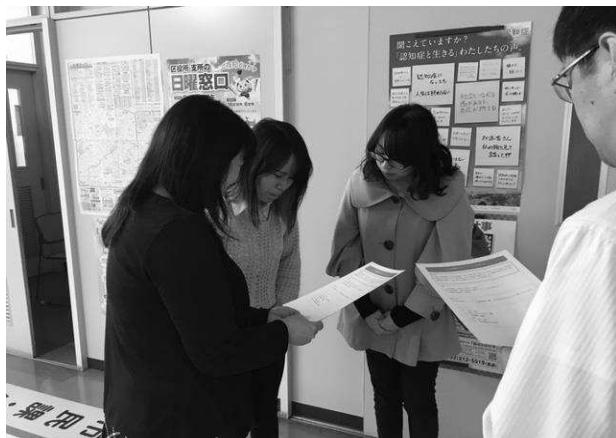
番組の1シーン



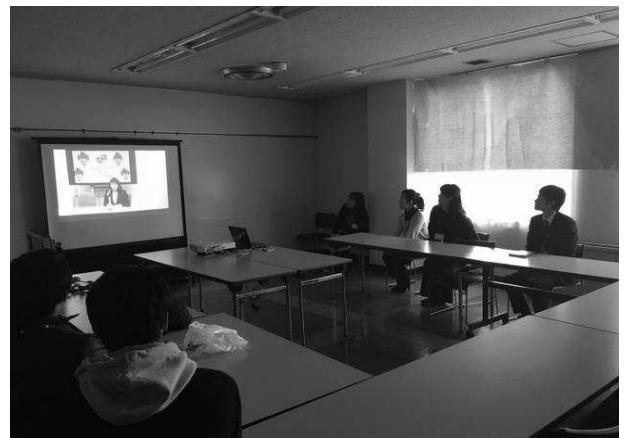
ロビーにて上映の様子



事前打ち合わせ



区役所の方との試写会



天白区役所公式 Facebook 2018年1月26日付け記事にて紹介あり

# 名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2018

## ボランティア活動報告

### 1. 目的・概要

2014年に国内では初めてとなる女性のみの車椅子マラソン「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン」が開催された。以来、ホイールチェアマラソンのボランティアについては、マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会より依頼を受け、本学スポーツ健康科学部生が担当している。5回目となる本大会は、2018年3月11日に開催された。本報告では、大会当日および事前研修会について述べる。

スポーツ健康科学部が本活動に参画する目的は、大会を通じた地域活性化に貢献すること、さらに、障がい者スポーツやパラリンピックスポーツの普及・促進に寄与することにある。一方、ボランティアスタッフとしての活動は、学生たちに多くの学びを提供してくれる。スタッフとして大会運営に参画することは、普段の生活では知ることのできない競技会運営を知る機会となる。また、実際に目にする選手たちのパフォーマンスは、スポーツ科学を専攻する学生たちにとって、新たな身体観やスポーツの価値、スポーツの可能性を感じ得る場となる。

こうした学びを促進させるための学習として、本学部では大会前に「ホイールチェアマラソンボランティアスタッフ事前研修会」を実施している。2018年2月に実施された研修会は、1) 当日の活動について(大会実行委員会)、2) パラリンピック教育・理論編(安藤佳代子講師・日本福祉大学スポーツ科学部)、3) パラリンピック教育・実技編(田中照代選手・チームTIR)、以上の3部で構成され、計4時間に渡り実施された。

※マラソンフェスティバル 名古屋・愛知実行委員会から本学学長宛のボランティア依頼文書あり

### 2. 担当部局(選手エスコートおよび大会運営補助)

「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2018」には、スポーツ健康科学部から 17 名の学生(指導:木村華織スポーツ健康科学部講師)がボランティアスタッフとして参加した。大会での活動は、選手のエスコートを中心とする活動と大会運営に関わる活動の 2 種類に分けられる。エスコートスタッフの活動は、選手の生活用車椅子や競技用レーサーの移動、手荷物の引き渡し、会場案内、その他荷物の搬送準備が中心となる。一方、大会運営スタッフは、ゴールテープの担当、表彰式でのプレゼンターの補助、競技場周辺での観客の呼び込み、荷物搬送準備等を担当する。今回は、14名がエスコートスタッフ、3名が大会運営スタッフとなって活動した。

### 3. 所見・成果

#### (1) 事前研修会の成果

大会終了後に、障がい者スポーツ協会の指導員の方から、例年以上に学生たちの動きが良いことや競技用レーサーの扱い方に慣れている等の意見をいただいた。事前研修会において、地元名古屋市出身で当日の競技会にも出場する田中照代選手を招聘して選手目線からの実技学習を行ったこと、さらにパラリンピックに関する理論学習を行ったことが、学生たちの当日の動きに表れていた。どのように選手に声を掛けて良いのかなど戸惑う様子もあったが、研修会での田中選手からの助言を思い出し、仲間と確認しながら選手に声を掛けている学生たちの姿が印象的であった。また、ゴールテープ担当になった学生は、テープを放すタイミング、車椅子選手に丁度良いゴールテープの高さを繰り返し確認していた。自ら考え、実践し、より良い方法を見出そうとする姿が随所にみられた。こうした学生たちの姿が見られたことは、事前研修を含む本活動の成果であるといえよう。

## (2) 知識学習と実践学習の重要性

本活動において事前研修会を欠かさないのは、障がい者スポーツやパラリンピックを理論と実践の両面から学ぶことを重要視しているからである。2020 東京オリンピック・パラリンピック組織委員会との大学連携協定を締結している本学において、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソンでの活動は、オリパラ教育の実践の場でもある。オリンピック・パラリンピック教育（以下、オリパラ教育）では、知識学習、体験学習、実践（表現）学習が、重要な教育プロセスとしてあげられており、知識・体験としての学びを実践の場でどのようにいかすのか、さらには自らの生活にどのようにいかしていくかに重きが置かれている。学生たちが、事前に得た知識と当日のボランティア活動によって得られた学びを結び付けながら、より深い次元での学びに繋げる意味において、理論と実践という両面からの学習が重要だと考えている。

他方、主催者からの配慮もあり、例年競技会終了後には選手と交流する時間が設けられている。学生たちは選手に質問をしたり、会話を楽しんだり、写真撮影をするなどして交流を深めている。一人の自立した人として、トップ・アスリートとして活動する選手たちとの会話は、学生たちにとって何よりも大きな学びの場となっている。



# お母さんと幼児のための食育料理教室

## 1. 目的・概要

このイベントは、東海学園大学健康栄養学部中出ゼミと緑区栄養士連絡会(名古屋緑区を中心に活動している愛知県栄養士会所属の栄養士・管理栄養士の団体)との協同で行っている地域住民を対象とした食育料理教室である。学生および緑区栄養士連絡会の会員が運営スタッフとなり 2015 年度より行っている。活動の目的は、地域貢献と、学生が実践を通して食育活動について深く学ぶことである。食育料理教室の企画から教室実施までの体験や、参加者(親子)との交流を通して、対象者に応じた食育支援のあり方を学ぶ機会となっている。また、現場の管理栄養士と協同で行うイベントであるため、管理栄養士の指導方法や実践について学ぶことができるのもこのイベントの特徴といえる。

具体的な活動としては、学生がニーズ調査の結果から本年度の食育のテーマを決定、講義内容や献立等の企画を立案する。その案をもとに緑区栄養士連絡会のスタッフと協議し、教室内容を決定する。参加者募集は、緑区栄養士連絡会がチラシを配布により行った。教室は二部構成で、一部は学生による食育講座、二部は調理実習と試食である。

2017 年度の食育料理教室は、平成 30 年 3 月 18 日(日)に、南生協病院多世代交流館だんらん調理室で行った。教室のテーマを「魚」とし、「魚の栄養について」のミニ講話と、魚を使った調理実習、試食を実施した。参加者は未就学児の親子 10 組、運営スタッフは、学生、教員、緑区栄養士連絡会会員の計 11 名であった。

## 2. 担当部局

### 【学内】

教員 中出 美代 東海学園大学健康栄養学部准教授

学生 健康栄養学部 3 年ゼミ生 5 名

### 【学外】

共催者：緑区栄養士連絡会(代表者／佐藤信子) 会員 5 名

## 3. 所見・成果

ニーズ調査として幼稚園で実施したアンケート調査(233 件)では、幼児の 9 割が魚を好きであるが、食卓での調理頻度としては魚料理がかなり低いことが明らかになった。そのため、食育料理教室が食卓に魚料理を取り入れてもらうきっかけになればとの思いから、子どもが参加できるミニ講話と親子で調理ができる簡単な魚を使った調理実習を実施した。ミニ講話は、絵カードを用いてゲーム感覚で参加できる内容としたため、子どもたちは楽しそうに絵合わせを行っていた。

調理実習では散し寿司、いわしのかば焼き、さといもの煮物、ほうれん草のカップケーキを調理した。子どもができる作業を多く取り入れた実習内容にしたため、子ども用の包丁を使って簡単なものは切り、あとは、手でちぎったり、型抜きしたりと、積極的に子どもたちが調理していた。実習後は、「包丁を初めて持ったが思いのほか切ることができたので家でもやらせたい」、「魚を初めて触ったが興味を持った

ようだ」、「食材を切って調理することが楽しかったと喜んでいる」などの感想がよせられ大変好評であった。学生にとっては、子どもを対象とした食育活動の難しさと手ごたえとを経験する良い機会になったと考えられる。本イベントは、CCNet 東名局の取材を受け、その様子は4月2日のCステーション(地域密着の番組)で紹介された。

### 【参考資料】

以下に実習風景の写真を示す。



# 三好ともいきスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

## 1. 目的・概要

総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ資源を活用してスポーツ振興や健康づくりを行うための拠点となる組織であり、みよし市では、みなよし地区に「三好さんさんスポーツクラブ」、なかよし地区に「なかよしクラブ」の2クラブがすでに設立済みであったが、残るきたよし地区に、みよし市と東海学園大学、地域住民とが連携して「三好ともいきスポーツクラブ」が設立された。（平成28年6月18日） 29年度は設立後2年目であり、大学の施設を活用した運動プログラムを中心として各種のプログラムを地域に提供した。なお、29年度のクラブ会員数は206名である。

## 活動の概要

29年度に実施したプログラムは以下の通りである。

### 継続プログラム

- 1、スポーツ吹矢倶楽部：隔週月曜日 10時～12時（三好丘・大覚寺および高嶺公民館）
- 2、グラウンドゴルフ倶楽部：毎週火曜日 9時～10時（第2グラウンド）
- 3、健康運動倶楽部：毎週火曜日 13時～14時（5号館ダンススタジオ）
- 4、公園体操：毎週水曜日 9時～10時（三好丘桜公園）
- 5、ポールウォーキング倶楽部：毎週金曜日 9時～10時（第1グラウンド&キャンパス周辺）
- 6、マシントレーニング倶楽部：毎週土曜日 9時30分～12時30分（5号館トレーニングルーム）
- 7、ともいき体操クラブ：4～7月、9～12月、1～3月の土曜日 9時～10時半に各8回づつ開催  
（5号館アリーナ）

### 単発プログラム

- 1、運動チャレンジ教室（コーディネーション運動）：8月29日＆30日 9時半～11時（5号館アリーナ）
- 2、コーディネーション運動教室（三好丘子ども会と共に）：12月16日 10時～12時（三好丘小学校）
- 3、子どもダンス体験教室：3月27日 17時～19時15分（5号館ダンススタジオ）

### 研修講座

- 1、運動指導のための科学的基礎 2017（健康開発支援センターと共に）：10月28日 14時～17時20分（3号館311教室）

### 健康講座

- 1、健康よろずセミナー（健康開発支援センターと共に）：5月27日 14時～16時（3号館311教室）

## 2. 担当部局

### 東海学園大学

担当者（三好ともいきスポーツクラブ役員）

会長：村松常司（スポーツ健康科学部長）

副会長：平松学（東海学園大学キャリア開発センター（教職支援）参与）

理事長：島岡清（東海学園大学スポーツ健康科学部特任教授）

副理事長：黒須雅弘（東海学園大学スポーツ健康科学部講師）

監事：谷洋幸（東海学園大学事務局次長）

理事：小田佳子（東海学園大学スポーツ健康科学部准教授）

理事：出口順子（東海学園大学スポーツ健康科学部講師）

理事：井澤悠樹（東海学園大学スポーツ健康科学部助教）

会計：榎原仁美（東海学園大学地域連携推進室長）

### 3. 所見・成果

本クラブは、設立から2年目に入り、これまでの高齢者向けプログラムに加えて、子ども向けの体操教室が継続開催となり、指導者向けの研修講座や住民向けの健康講座が加わるなど、充実しつつある。

今後は本学学生のアクティブラーニングの場として有効活用できるように組織を整備していくことが重要であるが、3月には学生主導型のダンス体験教室が行われ、30年度には継続教室としての開催が予定されており、少しづつではあるが、準備が整いつつある。

### 4. 参考資料

2017年度の会員募集パンフレットから、各種講座案内を以下に示した。

#### 健康運動倶楽部

健康づくりや介護予防に役立つ各種運動を行います。バランスボールやストレッチボール等使う運動など毎回様々な内容で行っています。お一人での参加でもすぐに楽しい仲間ができますのでお気軽にご参加ください。



#### マシントレーニング

土曜日限定でトレーニングルームを利用できます。トレーニングマシンの使い方などはサポート学生が対応します。開放時間内に各自のペースでトレーニングが可能です。18歳未満は利用できません。



#### ポールウォーキング

ポールウォーキングは下半身の運動に加え、腕や上半身の筋力を使うことから通常のウォーキングに比べ、より多くの運動効果があります。気軽に参加でき、中高齢者の健康づくり運動として人気のあるプログラムです。



#### グラウンドゴルフ

グラウンドゴルフを楽しみながら、参加者同士の交流を深めることを目的としています。高度な技術も道具も必要なく、競技志向ではありません。ルールも簡単ですので初めての方も気軽に手ぶらで起こしください。



#### 公園体操

三好丘桜公園での健康運動教室です。筋トレやボールウォーキングなど、主に学生が運動指導をします。また地域のボランティアの方々による飲料等の提供もあり、コミュニケーションの場としても活用されています。



#### スポーツ吹矢

吹き矢を用いて健康新に寄与する競技のこと。5~10メートル離れた円形の的に腹式呼吸を意識しながら吹き矢を射るもので、競技としての面白さに加え、精神集中・血行促進・細胞活性化などに役立つとされています。



#### ともいき体操

29年度は通年のプログラムとして行います。マット、とび箱、鉄棒を中心に行い、毎週走ったり、跳んだりして筋肉を動かしますので体力や持久力もつきます。※定員内であれば年度途中のお申込みも可能です。



#### 【子ども向け夏休み短期教室】 コーディネーション運動

スポーツを楽しむためには、バランス、素早い反応、巧みな動作などの神経・筋系の能力（コーディネーション能力）が必要です。大小のボールやミニ平均台などを使って、コーディネーション能力を高める運動を学生が楽しく、丁寧に教えます。詳細は追って、HPにてご案内します。



## 【 経営学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	企業との連携による課題解決活動	ニシカワ運輸様が事業として行っている新車輸送事業、中古車輸送事業、車内クリーニング事業の3事業ついで、現状のビジネスモデルを企業側と一緒に整理し、新プラン検討した。さらに、事業ごとに学生の考えた新プランを経営者、および関係者へ提案・発表した。	2017.4.12～7.19 発表会： 2017.7.19	三好キャンパス ニシカワ運輸	(15)	その他
2	企業との連携による商品開発活動	豊通ニューパック様の支援を受けながら学生が商品開発の活動を行つた。さらに、新たに検討したアイデアを関係者へ発表した。	2017.4.13～7.20 発表会： 2017.7.20	三好キャンパス 豊通ニューパック	(15)	その他
3	かがやけあいちサステナ研究所	愛知県と企業が共同で行う研究開発事業に協力している。40名の大学生が研究員となり、パートナー企業・団体10社に派遣され、企業・団体から提示された環境に関する研究課題に取り組んだ。本年度は、本学の学生がチーム・デンソーに所属、活動し、報告会で発表した。なお、本学学生担当分を瀬川教授が研究面でサポートした。	基礎講座 2017.6.18・7.2 地域環境活動 2017.6.25 企業環境活動研究 2017.8.9・8.23・ 8.30・9.6 成果報告会 2017.12.3	愛知県東大手 庁舎1階あいち 環境学習プラザ セミナー室 デンソーホン 愛知淑徳大学 星が丘キャンパ ス	40 (1)	その他
4	新豊田商店街振興組合との連携活動	商店街と連携した地域活性化活動の一環として、学生が商店街MAPの製作に取り組んだ。また、その活動の報告として、愛知県主催の商店街地域連携成果報告会で活動の報告を行つた。	中間発表会 2017.7.20 秋学期活動期間： 2017.9.14～ 2018.1.18 報告会： 2018.3.16	三好キャンパス 豊田市内、豊田 市t-Face会議室 報告会： 安保ホール	(16)	共催
5	あいちのお菓子フェア2017	愛知県内の洋菓子、和菓子店の知られざる銘菓を地域に紹介する出展イベントに向けて、本学の学生が企業と一緒に商品開発やマーケティングの打合せを重ね、イベントを開催。企業と学生がコラボした商品やPOPを出展した。参加菓子店15店の内、本学担当5店、他10店は他大学が担当した。	イベント 2017.11.12	栄広場	(30)	協力
6	根羽村創生プロジェクト	ゼミ1年生15名と、長野県根羽村関係者（村役場、商工会、森林組合）が協議し、人口減少が進み、限界集落化する根羽村の活性化に取り組む。	2017.10.28 2018.3.20	根羽村村役場、 森林組合事務所	根羽村 関係者 約 10(15)	共催
7	【みよし市との包括協定】 名古屋グランパスエイトとの名鉄 三好ヶ丘駅におけるJ1成績情報 ボードの設置・運営	グランパスとみよし市の相互支援協定での活動にゼミで参画した。 みよし市教育委員会での学生訪問調査、本学でのグランパス、みよし市向けの学生プレゼンテーションを実施して、参画が了承された。 最初の学生提案による活動としてグランパスとゼミで名鉄三好ヶ丘駅におけるJ1成績情報ボードの設置・運営を開始した。	2017.11.13 2018.3.1 2018.4.20 2018.4.26	みよし市教育委員会、名古屋グランパスエイトクラブハウス、名鉄三好ヶ丘駅、 三好キャンパス	(16)	共催
8	【みよし市との包括協定】 みよし市イルミネーション「ラ ヴアーズストリート in 保田ヶ池 2017」	みよし商工会が実施するイルミネー ションのイベント運営に協力した。	2017.12.2	みよし市 保田ヶ池	(10)	協力

## 【人文学部】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	【みよし市との包括協定】 コミュニティFM「モミアゲラジオ」	エフエムとよたの番組「モミアゲラジオ」(毎週土曜日午後3:00～6:00放送)内で「みよしコミュニティニュース」(放送時間午後3:50～4:00)のコーナーを担当。学生が市内イベントをインタビュー取材し、レポーターとして地域情報を発信する。2013年11月末より。(2013年11月29日付新聞記事あり)	毎週土曜 (継続)	みよし市カリヨン ハウス	(20)	共催
2	【みよし市との包括協定】 コミュニティFM「みよしコミュニティニュース」	エフエムとよたの番組「モミアゲラジオ」(毎週土曜日午後3:00～6:00放送)内で「みよしコミュニティニュース」(放送時間午後3:50～4:00)のコーナーを担当。武市ゼミの学生が市内イベントをインタビュー取材し、レポーターとして地域情報を発信する。2013年11月末より。(2013年11月29日・2016年4月11日付新聞記事あり)	毎週土曜 (継続)	みよし市カリヨン ハウス	(20)	共催
3	朝日村公開講座 「楽しく描ける マンガ教室」	朝日村の小中学生を対象にマンガ講座を実施。 講師はほしの竜一教授(人文学部)、 学生指導・その他関連業務は谷伊織准教授(人文学部)、小島雅生准教授(教育学部)が担当。 学生が子どもの活動の補助し、マンガ講座を実施。	2017.10.21	長野県朝日村 中央公民館(学外)	9(5)	共催
4	【天白区との包括協定】 天白ご当地動画制作	名古屋キャンパスのある天白区の魅力を映像で伝えるご当地動画を武市ゼミの学生が制作した。 天白区役所企画経理室の協力の元、地元で生産されているあいち伝統野菜の八事五寸人参の収穫風景をレポートするスタジオ番組と、区内の名所名跡を歩いて巡るミュージックビデオの2種類の動画を制作し、1月24日～2月2日まで天白区役所1階情報コーナーにて上映した。	2018.1.24～2.2	天白区役所1階 情報コーナー	(20)	協力

## 【 教育学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数)	種別
1	たまねぎ取り	近隣のあおぞら保育園児37名が来学し、本学菜園でたまねぎ取りを、学生と一緒におこなった。	2017.5.30	本学菜園	9	主催
2	碧南市藤井達吉現代美術館 夏休みワークショップ「枝とひものまきまき造形」	小学生対象の造形ワークショップ。枝とひもをつかった造形。午前中は個人作品制作。午後からは共同制作による空間表現。ボランティア学生数名予定。	2017.8.1	碧南市藤井達吉現代美術館	小学生11(3)	協力
3	碧南市藤井達吉現代美術館 親子ワークショップ「親子でまきまき造形あそび」	3~6歳の幼児とその保護者対象の造形ワークショップ。枝とひもをつかった造形。ボランティア学生数名予定。	2017.8.2	碧南市藤井達吉現代美術館	親子6組13(1)	協力
4	朝日村造形ワークショップ 造形ワークショップ「朝日村の自然から生まれる枝と糸のまきまきアート」	朝日村の小中学生33名と学生12名の合計55名にて木の枝を用いた作品作りを行うためのワークショップを開催した。 講師は小島雅生准教授(教育学部)、学生指導とその他関連業務:谷伊織准教授(人文学部)・ほしの竜一教授(人文学部)が担当した。 学生が子どもの活動の補助し、色とりどりの様々な作品が生まれ、盛況に終わった。	2017.8.17	長野県朝日村中央公民館(学外)	朝日村の方々58(12)	共催
5	サツマイモ掘り	近隣のあそぞら保育園児、3歳、4歳、5歳クラスの40名が本学菜園で、学生と一緒にサツマイモ掘りを行った。	2017.10.27	本学菜園	7	協力

## 【 スポーツ健康科学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	【みよし市との包括協定】 みよし市立黒笹小学校水泳ボランティア	小学校の体育の授業(水泳)における授業補助	2017.6~7	みよし市立黒笹小学校	(35)	協力
2	【みよし市との包括協定】 みよし市立三好北中学校水泳ボランティア	中学校の体育の授業(水泳)における授業補助	2017.6~7	みよし市立三好北中学校	(21)	協力
3	【みよし市との包括協定】 愛知県立三好特別支援学校の高等部部活動(マラソン部)支援	高等部マラソン部で 東海学園大学陸上部員が一緒に走り ランニング指導を行った	2017.8.2 2017.8.7 2017.8.8 2017.8.21	愛知県立三好特別支援学校	10 (3)	協力
4	郡上市高鷲北児童クラブにおける運動教室の開催	子ども向けコーディネーション運動教室の開催	2017.8.8	郡上市立高鷲北小学校	21 (15)	協力
5	【みよし市との包括協定】 みんなでつくろう！ニコニコスポーツ2017	近隣小学校(黒笹小学校・三好丘小学校・北部小学校)の児童を対象とした、夏休み3日間のスポーツ・レクリエーションプログラム。3年生・4年生のゼミ学生が合同で、プログラム内容の企画や実際の指導・広報活動・涉外など、企画・運営・評価を自身の手で行う教育実践活動。	2017.8.18・19・20	みよし市立黒笹小学校	67 (26)	主催
6	【みよし市との包括協定】 愛知県立三好特別支援学校の高等部部活動(ウォーキング部)支援	高等部ウォーキング部のポールウォーキング支援	2017.8.21・22・23・25	愛知県立三好特別支援学校	15 (延8)	協力
7	【みよし市との包括協定】 愛知県立三好特別支援学校小学部体育授業支援 ダンス交流	本学部の教員志望の学生(田中望ゼミ)と三好特別支援学校小学部4年生がパリズムダンスやレクリエーション、ストレッチ体操を通して交流した。 教員を目指す学生がプログラムを考案しそれを指導すること、そしてPDCAサイクルにより指導改善を行うことにより、学校教育における指導の実際を実践的に学ぶ場となった。児童にとっては個別的指導により、身体を動かすことの楽しさや人と触れ合うことの喜びを味わう機会となつた。	2017.9.19 2017.10.24 2017.11.14 2017.12.12 2017.1.16	愛知県立三好特別支援学校	(15)	協力
8	【みよし市との包括協定】 男女共同参画への取組講演会「一人ひとりが社会を創る構成員～多様な働きから多の実際～」	みよし市との連携事業として男女共同参画の啓発を目的とした講演会を実施した。小島プレス、みよし市立中学校教諭、尾三消防、みよし市役所で働いている4名を講師に、各職場での男女共同参画に関する取組を発表してもらった。最後に学生からの質問を受けて終了した。	2017.10.5	三好キャンパス大講義室	(200)	連携事業
9	【みよし市との包括協定】 みよし市立中部小学校持久走大会への学生ボランティア派遣	各学年男女別レースの伴走、着順カードの配布等の運営補助業務を行つた。	2017.12.6	保田ヶ池	(8)	協力

## 【 スポーツ健康科学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
10	愛知水泳連盟コーチ研修会2017	「トップスイマーの水中映像からみた泳ぎの特徴」講師：水藤 弘吏（日本水泳連盟科学委員／（一社）愛知水泳連盟 医・科学委員） 「姿勢・柔軟性のチェックと基礎的なコンディショニングエクササイズ」 講師：脇本 茉耶（日本水泳連盟トレーナー会議会員／T.S Serve Trainer Team） 「スプリントスイマーのトレーニング」 講師：佐々木 祐一郎（中京大学／リオデジャネイロオリンピック日本代表コーチ）	2017.12.10	三好キャンパス	100 (20)	協力
11	【みよし市との包括協定】 みよし市立黒笹小学校マラソン・ジョギング大会への学生ボランティア派遣	各学年男女別レースの伴走、個別の児童への付添及び支援等を行った。	2017.12.14	みよし市立黒笹小学校	12	協力
12	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2018」ボランティアスタッフ事前研修会	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2018」ボランティアスタッフ事前研修会」として実施し、ホイールチェア陸上競技選手の田中照代氏及び安藤佳代子氏（日本福祉大学）をお迎えして、講義および実技研修会を開催した。ボランティア学生の他、希望学生も参加した。	2018.2.7	三好キャンパス5号館	(20)	主催
13	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2018」ボランティアスタッフ派遣	ホイールチェア選手のサポート（移動・着替え・荷物搬送等）、大会の運営補助業務を担当した。	2018.3.11	ナゴヤドーム、パロマ瑞穂スタジアム	(17)	協力
14	日本オリンピック・アカデミー第5回ユースセッションin中京	本セッションは、スポーツや文化的活動等の実践による体験と参加者相互の交流を通じてオリンピックの理念を体感し、知的理解を深めるための合宿型（2泊3日）の高校生向けオリンピック教育。本学学生は、セッション3日目のボッチャ体験及び宿泊サポートを中心に任務として行った。	2018.3.22～24	中京大学	(5)	協力

## 【 健康栄養学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	平成29年度 学生によるまちづくり提案 「ホテルメニュー開発プロジェクト」	<p>豊田市主催の「学生によるまちづくり」事業でホテルメニューを共同開発した。【豊田市の名産品】である愛宕梨、緑茶(ほうじ茶)、ジビエを使ったホテルメニューを開発するプロジェクトで、寺嶋ゼミでは“緑茶の疾病予防効果と緑茶料理”を研究している事もあり、多くの試作品を作り、ホテルシェフと試行錯誤を重ね、「あたご梨のまつ茶ルト」を完成させた。</p> <p>この「あたご梨のまつ茶ルト」は、平成29年11/18(土)～12/17(日)に開催されたトヨタグルメフェアで、ホテルトヨタキヤッスルが提供し好評を博した。</p>	2017.8.6 2017.8.24 2017.8.25 2017.9.1 2017.9.15 2017.11.14 2017.12.16 2018.1.14	豊田市青少年センター、東海学園大学、ホテルトヨタキヤッスル、名鉄トヨタホテル、豊田市役所	(8)	協力
2	名古屋市農業センター 食農体験教室 「簡単おいしい野菜の料理づくり」	夏野菜を使った子どもでも調理のお手伝い可能な料理を紹介し、調理実習を行なった。メニューは「野菜たっぷりチヂミ」、「簡単パンバンジー」、「野菜ジュースゼリー」。	2017.8.8	名古屋市農業センター	9家族 大人12、 子ども12 (6)	共催
3	女子大学生等を学習者とした「3・1・2弁当箱法」体験セミナー事業、リ・マインドコンテスト	<p>「3・1・2弁当箱法」をベースに、学習者が、1食における主食(ご飯)、主菜、副菜の適量を把握し実践する力を形成することを目的として体験セミナーを行った。公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の針谷順子氏が「3・1・2弁当箱法」の趣旨とルール等に関して、テキストを使用しての講義、料理を作る、詰める、食べるの体験実習を実施した。また、「3・1・2弁当箱法」を確実に実践していく動機付けとして、実施直後及び実施3ヵ月後にアンケート調査を行った。</p> <p>上記受講者を対象に「3・1・2弁当箱法」の理解度、実践度を把握するためセミナー時に使用した弁当箱を使用し、自身が理解している「3・1・2弁当箱法」に基づき、リ・マインドコンテストを実施、弁当を作成、教員及び学習者相互で趣旨とルールに沿っているか評価し、優秀賞を選定した。</p>	2017.9.29 2017.9.30 2018.3.27(リ・マインドコンテスト)	名古屋キャンパス 410・412・413教室	(105) (78)	協力
4	「あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」	地元の食材や郷土料理を取り入れながら「アイディア朝ごはん」の献立作りや調理を通して、家族の絆を深めることを目的に開催されるコンテスト。本選に残った小学生10名が当日調理を行い、その出来映えを審査した。愛知県教育委員会が主催、本学は共催として会場提供、当日の運営等に協力した。	2017.10.28	名古屋キャンパス 4号館1階・311教室	40(10)	共催

## 【 健康栄養学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
5	日頃の食生活をチェックしよう！	就労移行支援事業所「ノックス葵」は発達障害を中心とした精神障害をお持ちの方を支援している。当事業所では、そのような疾患をお持ちの方の就労支援プログラムとして、様々な分野の専門家が関わっている。今回、その1つとして長幡ゼミが食の面からプログラムを提供した。具体的には、参加者(14名)の食生活をチェックし、その後一緒に野菜料理を作り、試食した。	2017.10.30	就労移行支援事業所「ノックス葵」(名古屋市東区葵3-12-7AMS葵ビル2階)	14(3)	協力
6	とうがく生と一緒に運動と食で健康になろう！ ～農業センターウォーキング＆食育紙芝居～	「名古屋市農業センターまつり」の1つのイベントとして実施。農業センターと本学部のコラボで作成した「農業センターマップ」の披露イベントとして、そのマップを用いてウォーキングコースを歩く「ウォーキング大会」を実施。また、その前後で農業センターの依頼で作成した「食育紙芝居」の一部を披露した。	2017.11.5	名古屋市農業センター	16(14)	協力
7	食の物語フェア 北部マルシェ2017	名古屋市中央卸売市場北部市場は、野菜や果物、魚など多種多様な生鮮食料品を全国の産地から集荷し、一般消費者へ安定的に供給する役割を担っている。今回、産地から消費者までの流れを「食の物語」としてとらえ、消費者に紹介。食に関する様々な情報を供給し、食育推進、生鮮食料品の需要拡大に寄与し、消費者に親しまれる市場づくりを目指すことを目的とした。	2017.11.12	北部市場 水産物卸売場 水産物仲卸売場	約 40,000 (11)	協力
8	【天白区との包括協定】 介護フェスタinてんぱく 2017	天白区介護フェスタ実行委員会、天白区地域包括ケア推進会議が主催する高齢者への介入事業。12月1～2日までの2日間の開催のうち12月2日の天白区役所講堂で行われた多くの企画にボランティアとして学生とともに参加。「高齢者の食と健康〇×クイズ」、高齢者向けの栄養情報展示と体験、健康測定と栄養相談、天白区と名古屋市の人気マスコットキャラクターの着ぐるみに入った撮影会に協力した。なお、骨密度計や簡易ヘモグロビン測定機の大学からの貸し出しも行った。	2017.12.2 10:00～16:00	天白区役所講堂・天白保健所	(25)	協力
9	2nd NAGOYA サンタウォーク & ジャズ・フェスティバル	NAGOYAおもいやりサンタウォーク&ジャズ・フェスティバルは、家庭の経済的な事情で学びたくても学べない若者を支援するために、活動している。当日は、高柳尚貴助教と学生が、ウォーキングの準備運動を指導。また参加者にドリンク等配布の手伝いを学生がした。その後一緒に参加者とサンタの格好でウォーキングし、参加者との交流をはかった。	2017.12.2	久屋大通公園 久屋広場	(20)	協力

## 【 健康栄養学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
10	名給フードネットワーク 2018春in 名古屋	名給株式会社が年2回開催している展示会の「大学生コラボ」コーナーに参加。徳永ゼミの学生達は、事業所向きの野菜たっぷりメニューの考案、試食を担当。展示会への参加により、来場者の方々へメニューの工夫点の説明や質問に対して回答する機会を通して大学での学びを深めた。	2018.3.15	名古屋国際会議場	約900 (14)	協力
11	お母さんと幼児のための食育料理教室	緑区栄養士連絡会(名古屋緑区を中心として活動している栄養士会所属の栄養士・管理栄養士の団体)と中出ゼミの共催で実施した地域住民を対象とした食育料理教室。参加者は未就学児の親子13組。教室のテーマを「魚」とし、「魚の栄養について」のミニ講話と、魚を使った調理実習、試食を実施した。	2018.3.18	南生協病院多世代交流館団らん調理室 (名古屋市緑区南大高2-204)	(5)	共催

## 【図書館】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	図書館開放	①天白区民対象(名古屋図書館) ②みよし市民対象(三好図書館) ③公開講座受講生対象(両図書館) ④みよしともいきスポーツクラブ(三好図書館) ⑤在学生の保護者(両図書館) ⑥近隣の中學・高校生(両図書館)	2016.4.1～ 2017.3.31	東海学園大学 図書館	①78 ②15 ③ 三0 名11 ④3 ⑤5 ⑥0	主催

## 【 共生文化研究所 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	第五回浄土宗宗門大学社会連携企画報告会	1.京都華頂大学・華頂短期大学、京都文教大学、京都文教短期大学、佛教大学、東海学園大学、浄土宗ともいき財団による取組活動報告 2.学生たちによるパネルディスカッション 3.懇親交流会	2017.12.16	名古屋キャンパス 311教室	130 (60)	共催

## 【 健康開発支援センター 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	健康運動俱楽部(名古屋)	中高齢者向け運動教室	通年 毎週金曜 ①9:10～ ②10:30～	名古屋キャンパス	延1525	主催
2	【みよし市との包括協定】 ポールウォーキングin花まつり	三好キャンパスでポールウォーキング体験教室	2017.4.8 10:30～11:30	三好キャンパス	37 (16)	主催
3	【大桑村との委託契約】 地域住民のための健康講座「まめ習慣講座」	大桑村民への運動指導 講師: ①②⑤島岡清(健康開発支援センター長) ③④⑥梶岡多恵子(教育学部教授)	①2017.5.15 ②2017.6.12 ③2017.7.22 ④2017.9.7 ⑤2017.10.25 ⑥2017.11.11	長野県木曾郡 大桑村村民体育館	延88	協力
4	健康よろずセミナー	高齢者向け健康講演会 講師: 齊藤満(豊田工業大学名誉教授) 楠瀬睦郎(むつおクリニック院長)	2017.5.27 14:00～16:15	三好キャンパス	68	共催
5	【天白区との包括協定】 「天白健康づくり隊勉強会」	健康づくりボランティア育成のための研修講座	2017.6.6 2017.8.2 2017.10.20 2017.12.15	天白公園 戸笠公園 天白保健所	延60	協力
6	【みよし市包括協定】 「みよし市スポーツ指導者講習会」	みよし市の運動指導者向け講座 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2017.7.22 17:00～18:30	三好キャンパス	25	協力
7	【名古屋市委託事業】 なごや健康カレッジ 健康學ノス スメ2017	学生参加型の中高齢者向け健康づくり教室 講師: 島岡清(健康開発支援センター長) 梶岡多恵子(教育学部教授)	毎週2017.10.5～ 2018.1.18 木曜日9:45～ 11:15全13回	名古屋キャンパス	34 (14)	主催
8	運動指導のための科学的基礎 2017	運動指導者向け講座 講師: ①石田浩司(名古屋大学教授) ②齊藤満(豊田工業大学名誉教授) ③丸山裕司(東海学園大学准教授)	2017.10.28 14:00～17:20	三好キャンパス	66 (14)	主催

## 【 健康栄養プラザ 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	健康栄養プラザ本コース① イタリアの家庭料理を学ぼう	イタリア料理研究家豊木玉枝氏を招き、イタリア留学中に学んだイタリア料理のコツに関する講義のあと、「ブロッコリのパスタ」「鶏肉のカッチャトーラ赤ワイン仕立て」「じゃがいものオーブン焼き」「パンナコッタレモンソース」の4品を実習した。	2017.4.22	名古屋キャンパス 4号館調理実習室	23 (5)	主催
2	健康栄養プラザ本コース② 大豆で健康づくり	本企画はマルサンアイ株式会社との共催で開催した。西田淑男教授による大豆の機能性についての講義を行い、続いてフードコーディネーター松岡祐里子氏による調理実習を行った。豆乳を使った発酵乳(豆乳グルト <sup>®</sup> )を用いた「豆乳麻婆豆腐」「中華風みそ生春巻き」「豆乳グルトのカップケーキ」を実習した。	2017.5.27	名古屋キャンパス 調理実習室	30 (6)	共催
3	【天白区との包括協定】 どうがくッキング 手打ちうどんを作ろう	本企画は天白児童館との共催で開催したものである。天白児童館留守家庭クラブの子どもたちを対象とし、加藤雅巳氏を講師に招き手打ちうどん作りを行った。管理栄養学科ボランティア学生が実際の運営を担い、子どもたちへの調理指導・補助、また教職課程履修学生による食育(紙芝居、クイズ)なども展開し、地域の子どもたちと貴重な時間を共有した。	2017.8.1	天白児童館	20 (8)	共催
4	健康栄養プラザ本コース③ 正常血圧を維持しよう	本企画は天白保健所との共催で開催した。“正常血圧を維持しよう”をテーマに、本学の加藤忠教授による血圧管理に関する講義と石原美由紀管理栄養士による減塩料理の調理実習として「鶏肉とパプリカのカシュー納豆炒め」「ひじきのビタミンサラダ」「大根のごまみそ汁」「レモンスカッシュ」の調理を行った。また名古屋市天白保健所からは食品ロスを減らすための取組みや災害時の備蓄に関する取組みが紹介された。	2017.8.5	名古屋キャンパス 調理実習室	23 (6)	共催
5	健康栄養プラザスポーツ栄養コース ②アスリートを支える食事～スポーツ栄養学の魅力～	「パフォーマンスを上げる食事術～食事でコンディショニングを成功させよう」をテーマに、京都文教短期大学小椋真理准教授による講義。アスリートの食事について、どのようなものを、どのくらい、どんなタイミングで摂れば良いのかを理論と実践法を交えての講義。	2017.9.9	名古屋キャンパス 臨床栄養実習室	27 (0)	主催
6	健康栄養プラザ本コース④ お麩で広がる健康な食卓	たんぱく質豊富な麩をテーマに、馬場美穂氏(管理栄養士)を講師に招き、講義および調理実習を行った。講義では麩に含まれる栄養を学び、調理実習では“車麩とチーズの肉巻き、麩と切り干し大根の豆乳スープ、水菜と大根の豆腐サラダ、麩のごまスナック”を調理し、意外な麩の活用方法を学んだ。	2017.10.14	名古屋キャンパス 調理実習室	25 (6)	主催

## 【 健康栄養プラザ 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
7	【特別講義】 オリンピック選手と食事	紙谷武氏(スポーツドクター)を講師に招き、特別講義を行った。北京、ロンドン、リオデジャネイロ五輪の日本柔道チームチームドクターとして現地に帯同した紙谷氏のドクターの視点を通した五輪選手の活躍や、選手の傷害やその治療法、また五輪村での食事とパフォーマンスとの関係について講義。講義後は、西堀すき江副学長、高柳尚貴助教とのショートシンポジウムを行い、食事と身体作りとの関係について現場からの意見を交え討論を深めた。	2017.11.25	名古屋キャンパス 311教室	約100	共催 (健康栄養学部)
8	健康栄養プラザ本コース⑤ そば打ちを楽しむ	「なごやそば打ち会」から5名の講師を招き、今年取れたそば粉で新そばを打った。受講者の中には「昨年も参加したが今年も」と、自作の打ちたてのそばの魅力を再度楽しむ方もおられた。	2017.11.18	名古屋キャンパス 調理実習室	18 (5)	主催
9	健康栄養プラザ本コース⑥ 食からメタボを予防する	古橋啓子准教授を講師に、メタボを防ぐための食事について講義と調理実習を行った。エネルギー controールだけではなく腸内細菌とメタボとの関係など多方面からの予防アプローチについて講義があり、低エネルギーで食物繊維が豊富な料理として“麦ご飯、鶏ささみのピザ風、わかめとにんじんのナムル、青梗菜のスープ、ヨーグルトゼリー”を実習した。	2017.12.16	名古屋キャンパス 調理実習室	27 (6)	主催
10	高校生特別企画② プロに学ぶチョコ菓子入門in大学 キッチン	『大学で作るバレンタインのチョコレート菓子』をテーマにパティシエの浅井宣光氏を講師に迎え、市販の材料で作るファンダンショコラを実習した。デコレーションの仕方などお菓子作りのコツも講義いただいた。高校生の参加は少なかったが、本学学生の希望者が数多く参加した。	2018.1.6	名古屋キャンパス 調理実習室	3 (28)	主催
11	【天白区との包括協定】 天白保健所タイアップ・離乳食講座	天白区保健所の加藤真由美管理栄養士を講師に、離乳食の基礎知識や離乳食を作る際に押さえておきたいポイントを講義で学び、野菜を中心とした離乳食を実際に実習した。子ども同伴型の会であったため、実習後は実際に子どもに食べさせたり、参加者同士で情報交換をしたりなど、終始和やかな雰囲気のなかでの講座となった。	2018.2.8	名古屋キャンパス 調理実習室	12 (10)	共催
12	健康栄養プラザスポーツ栄養コース ③市民ランナーのための耳より栄養学	高柳尚貴助教を講師に、昨今人気のある市民マラソンを楽しむランナーを対象とした講座を開催した。受講者は大会前の食事の摂り方や脱水を防ぐための水分の摂り方など、パフォーマンスを上げるための食事管理について知識を深めた。受講者の中には駅伝チームの指導者もおられ、ランナーのための栄養学への関心の高さがうかがわれた。	2018.2.24	名古屋キャンパス 臨床栄養実習室	7 (3)	主催

## 【 地域連携推進室 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	( 参 加 人 数 )	種別
1	【天白区との包括協定】 子ども支援	名古屋市立原小学校トワイライトスクール参加学生を大学でとりまとめ活動支援	放課後毎日実施に隨時参加	名古屋市立原小学校	(235)	協力
2		名古屋市天白区の原学区・平針南学区で学習環境困難な小学生の学習サポート。参加学生を大学でとりまとめ活動支援	毎土曜日午前中	各コミュニティセンター	(原99、平針南95)	協力
3	夜間公開講座 「江戸歌舞伎(2017春)」	歌舞伎の所作事の魅力についての講座 講師: 安田文吉(人文学部特任教授) 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	2017.4.12～7.5 毎水曜日 全12回	栄サテライトキャンパス 901教室	延278 (0)	主催
4	【天白区との包括協定】 公開講座(連携:天白生涯学習センター) 「歌舞伎入門(2017春)」	歌舞伎の基本講座 講師: 安田文吉(人文学部特任教授) 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	2017.4.12～5.17 毎水曜日 全5回	名古屋キャンパス 429教室	延114 (0)	連携
5	公開講座 「オペラの魅力(2017春)」	毎回異なるオペラの演目を中心に解説する講座 講師:大須賀闘雄(オペラ演出家)	2017.5.20～7.8 土曜日 全5回	栄サテライトキャンパス 901教室	延67 (0)	主催
6	夜間公開講座 「江戸歌舞伎(2017秋)」	2017年秋名古屋顔見世の演目中心の講座 講師: 安田文吉(人文学部特任教授) 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	2017.9.13～12.20 毎水曜日 全12回	栄サテライトキャンパス 901教室	延269 (0)	主催
7	公開講座 「オペラの魅力(2017秋)」	毎回異なるオペラの演目を中心に解説する講座 講師:大須賀闘雄(オペラ演出家)	2017.9.16～11.18 土曜日 全5回	栄サテライトキャンパス 901教室	延57 (0)	主催
8	【天白区との包括協定】 公開講座(共催:天白生涯学習センター) 「歌舞伎入門(2017秋)」	歌舞伎の基本講座 講師: 安田文吉(人文学部特任教授) 安田徳子(岐阜聖徳学園大学名誉教授)	2017.9.20～10.18 毎水曜日	名古屋キャンパス 311教室	延419 (0)	共催
9	【天白区との包括協定】 公開講座(連携:天白生涯学習センター) 現地を訪ねるシリーズ「熱田綺譚」	熱田について学び、最終回に現地を訪ね確認する講座 講師:安田文吉(人文学部特任教授)	2018.2.21～3.14 水曜日 全4回	名古屋キャンパス 420教室	延83 (0)	主催
10	2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業 次世代につなぐスポーツ人材育成事業(サッカー)	講義「ユースサッカー選手のフィジカル強化の考え方」 講師:星川佳広(スポーツ健康科学部准教授)  実習「初速を高めるスプリントトレーニングの実践」 講師:黒須雅弘(スポーツ健康科学部講師)	2017.2.24	三好キャンパス	28 (12)	協力

## 【 三好ともいきスポーツクラブ 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数)	種別
1	スポーツ吹矢倶楽部	スポーツ吹矢 講師: 木村綾子(スポーツ吹矢協会指導員)	(通年) 第1・3月曜日 10:00～12:00	大覚寺、6/5～高嶺公民館	延178	主催
2	グラウンドゴルフ倶楽部	グラウンドゴルフ 責任者: 島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	(通年) 毎週火曜日 9:00～10:00	三好キャンパス 第2グラウンド	延818 (延53)	主催
3	三好健康運動倶楽部	中高齢者の運動教室 講師:東郷町施設サービス株式会社	(通年) 毎週火曜日 13:00～14:00	三好キャンパス 5号館ダンススタジオ	延359 (延16)	主催
4	公園体操	三好丘桜公園で学生が運動指導 責任者: 島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	(通年) 毎週水曜日 9:00～10:00	三好丘桜公園	延1032 (延37)	主催
5	ポールウォーキング倶楽部	ポールウォーキング 講師: 島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	(通年) 毎週金曜日 9:00～10:00	三好キャンパス 第1グラウンド	延1301 (延52)	主催
6	マントレーニング倶楽部	マシンを使ったトレーニング 責任者: 島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	(通年) 毎週土曜日 9:30～12:30	三好キャンパス 5号館トレーニングルーム	延167 (延49)	主催
7	ともいき体操くらぶ	小学生向けの体操教室 主任講師: 岡本敦(スポーツ健康科学部教授) 他	(通年) 土曜日 9:00～10:30	三好キャンパス 5号館アリーナ	延553 (延143)	主催
8	何でもスポーツ相談	健康、スポーツに関する悩みを相談 講師: 島岡清(スポーツ康科学部特任教授)、 池上久子(南山大学名誉教授)、 斎藤満(豊田工業大学名誉教授)、 坪田暢允(名古屋学院大学名誉教授)	2017.5～7 毎月第2・4土曜日 10:00～12:00	三好キャンパス 5号館	延2	主催
9	小学生向け単発教室 運動チャレンジ教室 (コーディネーション運動)	小学生向けコーディネーション運動を 学生が指導 責任者: 島岡清(スポーツ健康科学部特任教授)	2017.8.29・30 9:30～11:00	三好キャンパス 5号館アリーナ	延52 (20)	主催
10	キッズダンスくらぶ体験会	小学生3年～6年を対象とした、学生 主体で指導のダンス体験教室 主任講師: 田中望(スポーツ健康科学部講師)	2018.3.27 ①17:00～ ②18:15～	三好キャンパス 5号館ダンススタジオ	16 (5)	主催



## 平成 29 年度地域連携支援プログラム報告

発行：東海学園大学

発行年月：平成 30 年 7 月

### 名古屋キャンパス

住所：〒468-8514 名古屋市天白区中平 2-901

TEL : (052) 801-1201 FAX : (052) 804-1044

### 三好キャンパス

住所：〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21 番地 233

TEL : (0561) 36-5555 FAX : (0561) 36-6757